

倉敷市立自然史博物館報

32

(令和4年度)

第31回特別展

倉敷動物妖怪展 at 自然史博物館

妖怪ってこわい! ふしぎ? かわいい!?
岡山にまつわる妖怪が大集合!



2022/7/16(土) ▶ 9/25(日) 倉敷市立自然史博物館
Kurashiki Museum of Natural History

開館時間 9:00~17:15(最終入館は16:45) 休館日 月曜日(祝日または振替休日の場合は翌日)
所在地 倉敷市中央2-6-1 MAIL:musnat@city.kurashiki.okayama.jp TEL:086-425-6037
主催 倉敷市立自然史博物館・里庄町立図書館 共催 倉敷市立自然史博物館友の会・佐藤清明
資料保存会 <高梁川流域連携中枢都市圏事業> 特別展ページ <https://www.w2.city.kurashiki.okayama.jp/museum/open Exhibition/2022/yokai.html>

イラストの妖怪の名前も自然史博物館でわかる! イラストの犬島徳平(特別展では取り上げていない妖怪もいます)

倉敷市立自然史博物館

令和5年7月1日発行

目次

I 資料収集保管事業

1	寄贈標本	1
2	館員による採集	3
3	購入	3
4	交換	3
5	寄託	3
6	受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳	3
7	二次資料	4
8	登録済み資料点数	5
9	標本整理ボランティアの活動	5
10	博物館のお宝探検	5
11	館外者による収蔵資料の利用	5
12	収蔵資料を活用した業績	5
13	収蔵設備の充実	6
14	収蔵庫の燻蒸	6

II 調査研究事業

1	機関研究	6
2	分野別研究テーマ	6
3	研究業績などの公表	7
4	査読	10

III 展示事業

1	常設展	10
2	特別展	10
3	特別企画展	11
4	特別陳列	11
5	ミニ水族館の展示	12
6	常設展示の更改	12
7	生きた動植物の展示	12
8	恐竜と季節の植物のぬり絵	12
9	まちかど博物館	12
10	他館展示協力	13

IV 教育普及事業

1	自然観察会	13
2	博物館講座	13

3	特別展・特別企画展・特別陳列関連イベント	13
4	自然の標本なんでも相談会	14
5	地学教室	14
6	むしむし探検隊	14
7	自然素材を使った手作り教室	14
8	スライド映写会	14
9	昆虫標本作り体験教室	14
10	第22回 11月3日は自然史博物館まつり	14
11	ないと・みゅーじあむ	14
12	出版物	14
13	レファレンス	14
14	博物館実習生等の受け入れ	14
15	講師派遣	15
16	マスコミ報道	15
17	学校用標本の貸出	17
18	倉敷市立自然史博物館友の会の活動	17

V 庶務

1	沿革	19
2	各室現有面積	19
3	組織	20
4	委員、役員委嘱	20
5	会議等派遣	21
6	広報活動	22
7	職員の研修参加	22
8	視察来館	23
9	無料開放	23
10	予算・決算	23
11	年間利用者数	24

倉敷市立自然史博物館中期計画の点検

倉敷市立自然史博物館の運営方針

倉敷市立自然史博物館の資料収集方針

倉敷市立自然史博物館条例

倉敷市立自然史博物館条例施行規則

利用案内

I 資料収集保管事業

1 寄贈標本（敬称略）

(1) 地学分野（1件計1点）

12月24日 金銀鉱石 1点 辻極秀次

(2) 植物分野（77件計約8,632点）

4月3日 ゴバンノアシ 1点 狩山俊悟

4月6日 マツ科球果 5点 堤 和子

4月7日 岡山県産植物標本 1点 稲神邦代

4月9日 ヒメナズナ 1点 小橋理絵子

4月15日 岡山県産植物標本 66点 狩山俊悟

4月15日 国内産植物標本 153点 狩山俊悟

4月19日 岡山県産植物標本 1点 和田 優

5月6日 ミツデヘラシダ 1点 福田 宏

5月10日 岡山県産水草標本 27点 山野ひとみ

5月12日 国内産植物標本 19点 裾分由美子

5月12日 岡山県産植物標本 2点 稲神邦代

5月12日 岡山県産植物標本 4点 小橋理絵子

5月18日 岡山県産植物標本 89点 狩山俊悟

5月20日 国内産植物標本 309点 狩山俊悟

5月24日 岡山県産植物標本 2点 和田 優

6月9日 岡山県産植物標本 2点 木下延子

6月9日 岡山県産植物標本 3点 稲神邦代

6月9日 岡山県産植物標本 43点 溝手啓子

6月23日 岡山県産植物標本 3点 小橋理絵子

6月23日 国内産植物標本 21点 岡田智子

6月24日 タケ・ササ標本 1,067点 片山 久

7月1日 岡山県産植物標本 9点 木下延子

7月7日 岡山県産植物標本 29点 裾分由美子

7月13日 維管束植物標本 21点 鐵慎太郎

7月20日 タケ・ササ標本 1,546点 片山 久

7月20日 岡山県産植物標本 3点 裾分由美子

7月20日 岡山県産植物標本 4点 小橋理絵子

7月26日 ハタケチャダイゴケ 1点 石原登志大

7月26日 国内産植物標本 約3,000点

里庄町教育委員会

7月27日 岡山県産植物標本 1点 和田 優

7月28日 岡山県産植物標本 48点 岡田智子

8月8日 ハルニレ 2点 中村 剛

8月12日 国内産植物標本 20点 岩崎美穂

8月12日 岡山県産植物標本 9点 金子峻大

8月12日 岡山県産植物標本 11点 中塚 新

8月13日 岡山県産植物標本 12点 稲神邦代

8月13日 国内産植物標本 59点 溝手啓子

8月14日 国内産植物標本 79点 片岡博行

8月16日 岡山県産植物標本 3点 難波靖司

8月17日 タケ・ササ標本 1,266点 片山 久

8月24日 岡山県産菌類 2点 吉竹秋彦

9月2日 岡山県産植物標本 10点 出口歩海

9月6日 ノタヌキモ 1点 守安 敦

9月6日 岡山県産植物標本 15点 小橋理絵子

9月8日 ハスノハカブラ 1点 稲神邦代

9月30日 岡山県産植物標本 2点 稲神邦代

10月6日 国内産植物標本 97点 岡田智子

10月8日 岡山県産植物標本 5点 地職 恵

10月15日 岡山県産植物標本 3点 稲神邦代

10月25日 岡山県産植物標本 3点 和田 優

10月29日 国内産植物標本 23点 山根宏子

11月3日 国内産植物標本 73点 溝手啓子

11月13日 岡山県産菌類 3点 葛山康治

11月13日 国内産シダ植物標本 28点 溝手啓子

11月25日 国内産植物標本 71点 溝手啓子

12月8日 国内産植物標本 51点 溝手啓子

12月9日 岡山県産維管束植物 13点 鐵慎太郎

12月9日 広島県産維管束植物 6点 鐵慎太郎

12月10日 高知県産維管束植物 17点 鐵慎太郎

12月14日 新見市産植物標本 2点 溝手啓子

1月8日 井原市産植物標本 2点 稲神邦代

1月12日 岡山県産植物標本 15点 小橋理絵子

1月12日 国内産植物標本 21点 溝手啓子

1月12日 岡山県産植物標本 15点 裾分由美子

1月15日 ハマニガナ 1点 島岡浩恵

1月24日 岡山市北区産植物標本 2点 柿 真理

2月2日 岡山県産植物標本 31点 鐵慎太郎

2月2日 滋賀県産・兵庫県産植物標本 4点 鐵慎太郎

2月3日 国内産テンナンショウ属植物標本 13点 松本哲也

2月11日 岡山県産植物標本 42点 鐵慎太郎

2月21日 岡山県産植物標本 71点 岡田智子

3月2日 ヒメムラサキハナナ 1点 榎本 敬

3月11日 岡山県産シダ植物 3点 稲神邦代

3月25日 岡山県産菌類 3点 鐵慎太郎

3月28日 ウラジロガン 1点 大橋日出男

3月28日 岡山県産維管束植物 24点 鐵慎太郎

3月30日 岡山県産植物標本 14点 裾分由美子

(3) 昆虫分野（73件計4,216点）

4月3日 岡山県産昆虫類 1点 池田竣星・池田紗彩

4月7日 岡山県産昆虫類 2,260点 応用地質株式会社

4月16日 岡山県産昆虫類 1点 奥島雄一

4月27日 岡山県産昆虫類 1点 奥島万里

4月27日 岡山県産昆虫類 4点 奥島雄一

4月29日 岡山県産昆虫類 1点 安達由莉

5月4日 岡山県産昆虫類 67点 奥島雄一

5月4日 日本産昆虫類 32点 花谷達郎

5月8日 岡山県産昆虫類 2点 鐵慎太郎

5月10日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	10月8日	日本産昆虫類	50点	奥島雄一
5月15日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	10月18日	岡山県産昆虫類	1点	稲神邦代
5月20日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	10月19日	岡山県産昆虫類	3点	奥島雄一
5月25日	岡山県産昆虫類	1点	名取孝子	10月25日	外国産チョウ工芸品	1点	笹森久芳
5月10日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	10月28日	岡山県産昆虫類	30点	黒川比沙子
6月2日	岡山県産昆虫類	24点	安田雅章	10月29日	岡山県産昆虫類	1点	八田真生
6月2日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	11月11日	世界の昆虫類	1,262点	宇野弘之
6月7日	岡山県産昆虫類	2点	奥島雄一	1月15日	岡山県産昆虫類	1点	徳田瑛太
6月12日	岡山県産昆虫類	3点	藤本徹哉	1月23日	岡山県産昆虫類	7点	山下 純
6月12日	岡山県産昆虫類	1点	橋爪怜於	2月9日	日本産昆虫類	38点	奥島雄一
6月19日	岡山県産昆虫類	1点	小川由佳梨	2月14日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎
6月22日	岡山県産昆虫類	1点	永原良三	2月21日	岡山県産昆虫類	20点	奥島雄一
6月25日	岡山県産昆虫類	1点	稲草志穂	3月9日	日本産昆虫類	267点	香月 直
6月26日	岡山県産昆虫類	13点	高橋 元				
6月28日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	(4) 動物分野 (56件計81点)			
7月1日	岡山県産昆虫類	1点	稲神邦代	4月29日	メジロ	1点	木下延子
7月5日	岡山県産昆虫類	4点	難波裕之	4月29日	ヤマシギ	1点	小澤佑二
7月7日	岡山県産昆虫類	3点	稲神邦代	4月29日	コウベモグラ	1点	江木寿男
7月10日	岡山県産昆虫類	2点	難波裕之	4月29日	オオバン	1点	安達由莉
7月10日	岡山県産昆虫類	1点	磯野裕昭	4月29日	チョウセンイタチ	1点	奥島雄一
7月12日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	4月29日	キジ	1点	浅野克子
7月12日	岡山県産昆虫類	1点	小橋理絵子	4月29日	コウモリ類	1点	原田 愛
7月14日	岡山県産昆虫類	1点	田中司郎	4月29日	ホンドテン	1点	國忠征美
7月22日	岡山県産昆虫類	1点	山本珠江	5月1日	鳥類剥製	2点	日笠悌一
7月29日	岡山県産昆虫類	1点	河手優磨	5月10日	キツネほか	4点	佐々木彩乃
8月2日	外国産昆虫類	1点	南 雅之	5月12日	アフリカゾウ牙	1点	金岡健太郎
8月2日	岡山県産昆虫類	3点	杉山和美	6月9日	メジロの巣	1点	裾分由美子
8月7日	岡山県産昆虫類	1点	山本信子	6月11日	カワラヒワ	1点	國忠高広
8月10日	岡山県産昆虫類	1点	黒岩大地	6月12日	アオサギ	1点	越山洋三
8月13日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	6月12日	エナガの巣	1点	裾分由美子
8月13日	岡山県産昆虫類	2点	加藤 学	8月30日	ハシボソガラス	1点	小山一樹
8月20日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	8月30日	アオサギ	1点	夏井 操
8月23日	岡山県産昆虫類	2点	奥島雄一	8月30日	アオバト	1点	松島浩志
8月24日	岡山県産昆虫類	4点	吉竹秋彦	8月30日	アオバト	1点	中本紗耶加
8月25日	岡山県産昆虫類	1点	片岡結翔	8月30日	キジバト	1点	裾分由美子
8月25日	岡山県産昆虫類	1点	叶 智子	9月1日	羽根	20点	稲神邦代
8月26日	岡山県産昆虫類	1点	白川蒼士・白川奈緒美	9月3日	イエイヌ	1点	名取桜沙
8月28日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	9月6日	ミゾゴイ	1点	岡山県自然保護センター
8月30日	岡山県産昆虫類	34点	水野明浩	10月9日	テン	1点	越山洋三
8月30日	岡山県産昆虫類	1点	山本信子	10月9日	ツグミ	1点	越山洋三
9月2日	岡山県産昆虫類	1点	江田伸司	10月9日	トラツグミ	1点	越山洋三
9月3日	岡山県産昆虫類	2点	遠藤 伸	10月9日	セグロセキレイ	1点	越山洋三
9月6日	岡山県産昆虫類	6点	奥島雄一	10月18日	タヌキ	1点	大山望実
9月7日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	10月18日	カルガモ	1点	大山望実
9月14日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	10月18日	ハクセキレイ	1点	大山望実
9月14日	岡山県産昆虫類	13点	真嶋 豪	10月18日	タヌキ	1点	江川達也
9月29日	岡山県産昆虫類	1点	大山望実	10月18日	ヌートリア	1点	大山望実
9月29日	岡山県産昆虫類	2点	佐藤晃一	10月18日	タヌキ	1点	大山望実
9月30日	岡山県産昆虫類	4点	山根正信	10月18日	ノウサギ	1点	原田 愛
10月6日	外国産昆虫類	8点	奥島万里	10月18日	ノウサギ	1点	原田光之
10月8日	日本産昆虫類	2点	千田喜博	11月11日	メジロの巣	1点	山根正信

11月16日	ノゴマ	1点	笹田富夫
11月16日	アオウミガメほか	2点	小野 大
11月16日	ナガスクジラのヒゲ板	1点	谷本 隆
11月25日	ヤマガラ	1点	藤木精二
12月 6日	ユビナガコウモリ	1点	八田奈穂
12月14日	フクロウ	1点	小川有一
12月16日	スナメリ	1点	岡 秀彦
12月24日	アオバト	1点	江頭 正
12月24日	アオウミガメ・キジ	2点	岡野輝博
1月11日	アオバト	1点	藤原純子
2月16日	フクロウ	1点	小橋理絵子
3月21日	カワセミ	1点	遠藤智恵子
3月31日	ネズミ類	1点	山崎法子
3月31日	ヒミズ	1点	山崎法子
3月31日	キジバト	1点	山崎法子
3月31日	コガモ	1点	山崎法子
3月31日	ツグミ	1点	山崎法子
3月31日	テン	1点	山崎法子
3月31日	メジロ	1点	山崎 晃
3月31日	カルガモ	1点	藤原 聡

8月 6日	新見市草間	10点
8月30日	倉敷市中央	11点
9月 9日	新庄村田浪 (鐵慎太郎)	2点
9月24日	総社市上林	16点
10月 1日	津山市市場	15点
3月12日	新見市井倉	54点

2 館員による採集

- (1) 植物分野 (鐵: 鐵慎太郎採集、狩山: 狩山俊悟採集) 計116点
- 4月 6日 浅口郡里庄町里見 4点 (鐵・狩山)
 - 4月20日 笠岡市吉田ほか 9点 (鐵)
 - 4月28日 倉敷市中央2丁目ほか 4点 (鐵)
 - 5月13日 岡山市南区川張ほか 19点 (鐵・狩山)
 - 5月19日 真庭市蒜山上徳山 16点 (鐵・狩山)
 - 5月25日 小田郡矢掛町上高末ほか 7点 (鐵・狩山)
 - 5月28日 真庭市蒜山上徳山ほか 14点 (鐵)
 - 6月 8日 新見市井倉ほか 12点 (鐵・狩山)
 - 6月15日 高梁市川面町 5点 (鐵)
 - 6月26日 高梁市川面町 1点 (狩山)
 - 9月 9日 真庭郡新庄村田波 5点 (鐵・狩山)
 - 9月15日 苫田郡鏡野町上齋原ほか 8点 (鐵)
 - 9月16日 総社市上林 3点 (鐵)
 - 10月14日 倉敷市本町 1点 (鐵)
 - 10月15日 倉敷市児島上の町 3点 (鐵)
 - 2月 1日 加賀郡吉備中央町加茂市場 5点 (鐵)

- (2) 昆虫分野 (無記名は奥島雄一採集) 計222点
- 4月28日 倉敷市中央 (鐵慎太郎) 9点
 - 4月19日 里庄町里見 (鐵慎太郎) 1点
 - 5月24日 倉敷市連島町西之浦 1点
 - 6月12日 笠岡市大飛島 43点
 - 6月15日 高梁市川面町 17点
 - 6月24日 倉敷市粒江種松山 15点
 - 6月24日 倉敷市粒江種松山 (神田佐奈恵) 1点
 - 6月25日 倉敷市大島鷺羽山 (鐵慎太郎) 1点
 - 6月26日 高梁市川面町 23点
 - 7月10日 倉敷市粒江種松山 3点

3 購入

- 9月26日 ニタリクジラ骨格 1点
- 富士ストランディングネットワーク

4 交換

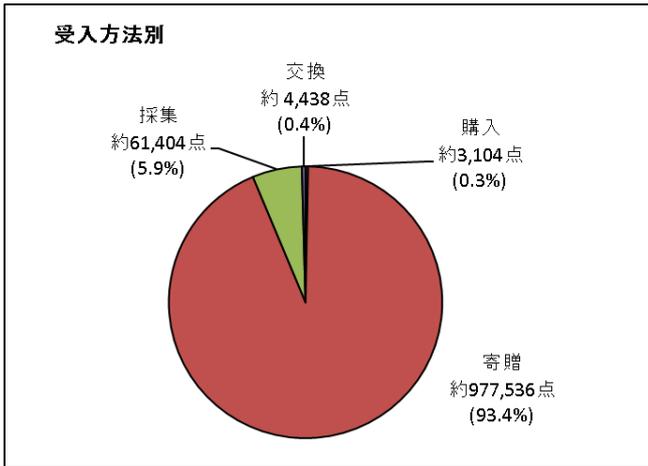
- 9月24日 国内産植物標本 160点
- 兵庫県立人と自然の博物館

5 寄託

なし

6 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳

年度	地学	植物	昆虫	動物	受入れ点数	累計点数
1983以前		50,000			50,000	50,000
1983	125	1,664	約 42,627	562	約 44,978	約 94,978
1984	67	1,530	約 1,554	約 3,558	約 6,709	約 101,687
1985	153	3,079	1,842	445	5,519	約 107,206
1986	約 110	約 5,299	2,166	約 3,679	約 11,254	約 118,460
1987	約 335	11,559	1,938	約 2,660	約 16,492	約 134,952
1988	6	4,145	約 3,886	2,448	約 10,485	約 145,437
1989	1,057	4,138	約 2,295	約 1,217	約 8,707	約 154,144
1990	5	4,226	484	約 1,192	約 5,907	約 160,051
1991	0	3,672	708	約 1,390	約 5,770	約 165,821
1992	約 19	3,759	4,486	約 822	約 9,086	約 174,907
1993	398	3,583	2,334	972	約 7,287	約 182,194
1994	145	3,367	約 4,891	703	約 9,106	約 191,300
1995	20	3,634	3,413	約 2,256	約 9,323	約 200,623
1996	45	6,284	約 1,883	36	約 8,248	約 208,871
1997	303	6,358	約 3,227	316	約 10,204	約 219,075
1998	763	8,945	約 9,281	約 443	約 19,432	約 238,507
1999	25	26,852	約 36,051	約 298	約 63,226	約 301,733
2000	40	12,398	1,062	16	約 13,516	約 315,249
2001	27	約 12,496	約 21,630	約 1,833	約 35,986	約 351,235
2002	約 1,015	8,020	約 13,385	約 442	約 22,862	約 374,097
2003	11	6,662	約 31,676	21	約 38,370	約 412,467
2004	約 95	6,004	約 43,298	165	約 49,562	約 462,029
2005	33	約 7,224	約 13,861	889	約 22,007	約 484,036
2006	18	3,652	約 13,874	約 840	約 18,384	約 502,420
2007	約 216	4,431	約 1,393	98	約 6,138	約 508,558
2008	58	4,484	839	約 542	約 5,923	約 514,481
2009	37	3,183	約 3,230	206	約 6,656	約 521,137
2010	約 1,008	10,346	約 16,635	72	約 28,061	約 549,198
2011	69	9,032	約 46,371	269	約 55,741	約 604,939
2012	361	約 10,801	約 63,907	約 3,123	約 78,192	約 683,131
2013	61	3,305	約 17,421	約 945	約 21,732	約 704,863
2014	約 869	約 9,062	約 15,070	約 999	約 26,000	約 730,863
2015	140	5,334	約 30,068	約 30,013	約 65,555	約 796,418
2016	約 320	約 8,570	約 10,499	約 10,094	約 29,483	約 825,901
2017	約 410	約 7,876	約 20,574	約 1,500	約 30,360	約 856,261
2018	約 2,754	約 9,002	約 45,659	約 2,187	約 59,602	約 915,863
2019	約 102	約 10,206	約 48,503	約 56	約 58,867	約 974,730
2020	0	約 2,009	約 5,578	41	約 7,628	約 982,358
2021	約 324	約 5,594	約 9,545	約 35,232	約 50,695	約 1,033,053
2022	1	約 8,908	約 4,438	約 82	約 13,429	約 1,046,482
合計	約 11,545	約 320,693	約 601,582	約 112,662	約 1,046,482	



7 二次資料

(1) 寄贈者、交換先 (敬称略、入力完了分のみ)

[個人] 江田伸司、奥島雄一、狩山俊悟、清水健一、可兒義朗、斉原修三、田淵正和、谷田一三、土屋新太郎、長田武正、八木晴花、山中典和。

[機関・団体] 日本甲虫学会、ひがし大雪自然館、旭川市公園緑地協会、浦幌町立博物館、釧路市立博物館、根室市歴史と自然の資料館、幕別町教育委員会、三笠市立博物館、斜里町立知床博物館、帯広百年記念館、苫小牧市美術博物館、美幌博物館、北海道大学農学部、北海道博物館、北見市教育委員会、利尻町立博物館、青森県立郷土館、岩手県立博物館、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、秋田大学大学院国際資源学部附属鉱業博物館、米沢市上杉博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、森林総合研究所、那須塩原氏那須野が原博物館、那須平成の森フィールドセンター、ぐんま昆虫の森、下仁田町自然史館、群馬県立自然史博物館、群馬県立博物館友の会、埼玉県立自然の博物館、埼玉県立川の博物館、栃木県立博物館、山階鳥類研究所、千葉県立中央博物館、千葉県立中央博物館分館海の博物館、千葉県立中央博物館房総の山のフィールドミュージアム、東レ科学振興会、(有)むし社、クマヒラ・ホールディングス、国立科学博物館、世界自然保護基金日本委員会、全国科学博物館協議会、東京大学総合研究博物館、東京都高尾自然科学博物館、東京農業大学学術情報課程、日本チョウ類保全協会、日本鯨類研究所、日本昆虫協会、日本博物館協会、日本文化財保護協会、日本林学会、府中市郷土の森博物

館、目黒寄生虫館、小学館、新興出版社、啓林館、教学社、JT生命誌研究館、文化財活用センター、環境省(総合環境学習ゾーンモデル事業)、横須賀市自然・人文博物館、環境再生保全機構、観音崎自然博物館、神奈川県植物誌調査会、神奈川県立生命の星・地球博物館、川崎市青少年科学館、日本大学生物資源科学部博物館、平塚市博物館、環境省自然環境局生物多様性センター、大町山岳博物館、長野市立博物館、飯田市美術博物館、野尻湖ナウマンゾウ博物館、長岡市立科学博物館、富山県中央植物園、富山市科学博物館、のと海洋ふれあいセンター、石川県ふれあい昆虫館、石川県白山自然保護センター、福井県自然保護センター、福井県立恐竜博物館、福井市自然史博物館、岐阜県博物館、自然共生研究センター、瑞浪市化石博物館、NPO静岡県自然史博物館ネットワーク、ふじのくに地球環境史ミュージアム、沼津市歴史民俗資料館、新城市鳳来寺山自然科学博物館、農林水産省名古屋植物防疫所、豊橋市自然史博物館、豊田市矢作川研究所、名古屋市環境局なごや生物多様性センター、名古屋市環境局環境企画部環境企画課なごや生物多様性保全活動協議会、なごや生物多様性保全活動協議会、三重県総合博物館、鳥羽水族館、藤原岳自然科学館、滋賀県立琵琶湖博物館、関西菌類談話会、日本シダ学会、日本地学研究会、あくあびあ芥川共同活動体、きしわだ自然資料館、関西自然保護機構、大阪市立自然史博物館、大阪府富田公園昆虫館、神戸女子大学、姫路科学館、兵庫県立人と自然の博物館、檀原市昆虫館、近畿植物同好会、和歌山県立自然博物館、公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団、鳥取県立博物館、鳥取昆虫同好会、日本鱗翅学会中国支部、氷ノ山自然ふれあい館響の森、(財)三瓶フィールドミュージアム財団、ホシザキグリーン財団、島根県立宍道湖自然館、環境省中国四国地方環境事務所、おかやま環境ネットワーク、岡山コケの会、岡山県環境保健センター、岡山県環境保全事業団、岡山県郷土文化財団、岡山県古代吉備文化財センター、岡山県自然保護センター、岡山県農林水産センター、岡山県博物館協議会、岡山県立博物館、岡山県立美術館、岡山市デジタルミュージアム、岡山市立美術館、岡山淡水魚研究会、岡山理科大学自然植物園、林原自然科学博物館、高梁川流域連盟、清心中学校・清心女子高等学校、浅口市寄島町アッケシソウを守る会、菊桜育成保存会、阿智神社社務所、倉敷昆虫館、倉敷市立中央図書館、倉敷市市史編さん室、倉敷市立自然史博物館、倉敷市立自然史博物館友の会、倉敷野鳥の会、津山市教育委員会産業文化部文化課、津山弥生の里文化財センター、津山市教育委員会文化課、日本博物館協会中国支部、日本野鳥の会岡山県支部、半田山植物園、広島市植物公園、広島大学総合博物館、庄原市立比和自然科学博物館、中国電力(株)エネルギー総合研究所、比和町立科学博物館、山口県立山口博物館、秋吉台科学博物館、萩博物館、美祢市歴史民俗資料館、豊田ホテルの里ミュージアム、防府市青少年科学館、徳島県立博物館、みんなで作る自然史博物館・香川、香川県立ミュージアム、香川大学教育学部生

物学教室、瀬戸内むしの会、愛媛県総合科学博物館、河山岳博物館、日本昆虫分類学会、面河山岳博物館、高知県越知町立横倉自然の森博物館、高知県牧野記念財団、森林総合研究所四国支所、九州大学総合研究博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、北九州市立自然史博物館、佐賀自然史研究会、熊本市立熊本博物館、熊本博物館、天草市立御所浦白亜紀資料館、宮崎県総合博物館、宮崎昆虫同好会、宮崎植物研究会、鹿児島県立博物館、Deutsches Entomologisches Institut、Korea National Arboretum、Thailand Natural History Museum.

- (2) 寄贈（入力完了分のみ）
単行書：309冊、雑誌：866冊
- (3) 交換（入力完了分のみ）
単行書：33冊、雑誌：411冊
- (4) 購入
〔備品〕単行書：2冊
〔消耗品〕単行書：28冊、雑誌：59冊

8 登録済み資料点数（令和5年3月31日現在）

- | | |
|----------|-----------------------|
| (1) 地学 | 計12,040点（内4年度620点） |
| 鉱物 | 2,455点（内4年度 0点） |
| 岩石 | 1,572点（内4年度 0点） |
| 化石 | 8,013点（内4年度 620点） |
| (2) 植物 | 計252,859点（内4年度3,815点） |
| 維管束植物 | 252,659点（内4年度3,815点） |
| コケ植物 | 200点（内4年度 0点） |
| (3) 昆虫 | 計238,948点（内4年度4,779点） |
| 日本産昆虫類 | 194,914点（内4年度3,319点） |
| 外国産昆虫類 | 44,034点（内4年度1,460点） |
| (4) 動物 | 計 38,915点（内4年度 33点） |
| 無脊椎動物 | 22,955点（内4年度 0点） |
| 哺乳類 | 128点（内4年度 1点） |
| 鳥類 | 221点（内4年度 28点） |
| 両生類・爬虫類 | 398点（内4年度 1点） |
| 魚類 | 15,139点（内4年度 0点） |
| その他 | 74点（内4年度 3点） |
| (5) 二次資料 | |
| 図書 | 13,797冊（内4年度 359点） |
| 逐次刊行物 | 46,053冊（内4年度1,387点） |

9 標本整理ボランティアの活動（計延べ600人）

- (1) 植物分野（敬称略）
松田恵子、入江和喜、伏見滋子、今田幸子、今田美羽、大江宏、蒲生直未。延べ133人。

- (2) 昆虫分野（敬称略）
岡野貴司、斉藤陽一、宮原康則、山地治。延べ106人。
- (3) 動物分野（敬称略）
岡田千誠、小橋理絵子、山崎法子、山野ひとみ。延べ97人。
- (4) 博物館友の会脊椎動物グループ
事業の概要：駆除個体の譲り受けと事故個体の拾得により、ボランティア主導で動物標本の作製と活用に取り組み、スキルアップを目指す。作製した標本は博物館資料として恒久的な管理のもとで展示、普及活動で活用し、博物館活動の輪を一般市民に広げる。延べ264人。

10 博物館のお宝探検

自由に立ち入ることができない標本収蔵庫を案内し、博物館資料の保管状況や貴重なお宝標本を見ていただいた（予約制）。植物17回130人、昆虫20回100人。

11 館外者による収蔵資料の利用（ボランティア活動、お宝探検除く、来館＋貸出）

地学0件、植物35件、昆虫62件、動物1件、二次資料53件。

12 収蔵資料を活用した業績（使用后、当館へ寄贈されたものも含む）計21件

- (1) 植物分野（8件）
鐵慎太郎、宇野確雄植物コレクションからロベリアソウ *Lobelia inflata*（キキョウ科）を見出す。しぜんしくらしき、(121)：2-3。（6月1日）
裾分由美子、倉敷市玉島の2か所でキケマンを採集。しぜんしくらしき、(122)：14。（10月1日）
鐵慎太郎・狩山俊悟、津山市市場でヒゲシバが見つかりました。しぜんしくらしき、(123)：12-13。（2月1日）
小橋理絵子・溝手啓子・裾分由美子、岡山県新産植物ウスキムヨウランの生育確認。しぜんしくらしき、(123)：14。（2月1日）
鐵慎太郎、野生化したニンジンボク。しぜんしくらしき、(123)：16。（2月1日）
Fujii, S. & N. Kurosaki, Morphological and taxonomic study of *Carex planata* var. *angustealata*. Acta Phytotaxonomica et Geobotanica, 74: 17-27.（2月28日）
鐵慎太郎、岡山県からズングリオヒシバ *Eleusine tristachya* (Lam.) Lam.（イネ科）を記録。倉敷市立自然史博物館研究報告、(38)：21-22。（3月25日）
狩山俊悟、岡山県植物誌資料(23) 岡山県のセリ科ウマノミツバ属。倉敷市立自然史博物館研究報告、(38)：23-26。（3月25日）

- (2) 昆虫分野（13件）

奥島雄一、#おうち観察会 4. しぜんしくらしき、(121): 5-6. (6月1日)

奥島雄一、竹林寺山で見られた秋の昆虫. しぜんしくらしき、(121): 7. (6月1日)

小橋理絵子、総社市でマツヘリカメムシを採集. しぜんしくらしき、(121): 15. (6月1日)

山地治、フサヒゲサシガメの古い記録. 月刊むし、東京、(620): 49. (10月1日)

鐵慎太郎、ヨコヅナツチカメムシを倉敷市の市街地で採集. しぜんしくらしき、(122): 6. (10月1日)

奥島雄一、寺山城跡周辺の昆虫. しぜんしくらしき、(122): 11-12. (10月1日)

奥島雄一、種松山の昆虫. しぜんしくらしき、(122): 13-14. (10月1日)

奥島雄一、オオムラサキ. パオちゃん's EYE、(70). (1月1日)

奥島雄一、岡山県におけるヒラタトガリカメムシの追加記録. しぜんしくらしき、(123): 4. (2月1日)

奥島雄一・河手洋晶・河手優磨、ヒラタクワガタ雌雄型の記録. 月刊むし、東京、(625): 41. (3月1日)

奥島雄一、自然史博物館で楽しむ岡山の昆虫. In 岡山大学文明動態学研究所編、大学的岡山ガイド—こだわ

りの歩き方、第1部 自然と生物、pp. 65-82、pl. 1、昭和堂、京都. (3月31日)

奥島雄一・白川蒼士・白川奈緒美、青い翅脈のクマゼミを確認. すずむし、倉敷、(158): 51-52. (3月31日)

山地治、ハコネホソハナカミキリの記録削除・訂正. すずむし、倉敷、(158): 76. (3月31日)

13 収蔵設備の充実

- (1) 購入
なし.
- (2) 寄贈
なし.
- (3) 自作
クジラ骨格用保管棚(単管、コンパネ) 1台.

14 収蔵庫の燻蒸

場所: 第1収蔵庫(使用薬剤: エキヒュームS)
期間: 6月26日~6月28日

II 調査研究事業

1 機関研究

(1) 岡山県下の自然に関する総合調査研究(調査日)

計延べ69回

[地学分野: 武智泰史] 4月6日、29日、6月15日、26日、9月16日、24日、28日、10月1日、11月24日、12月4日.

[植物分野: 鐵慎太郎] 4月6日、20日、21日、29日、5月13日、5月19日、25日、28日、6月8日、15日、26日、8月6日、9月9日、15日、16日、24日、28日、10月1日、26日、2月1日、3月5日.

[植物分野: 狩山俊悟] 4月6日、20日、21日、29日、5月13日、5月19日、25日、28日、6月8日、15日、26日、9月9日、15日、16日、24日、28日、10月1日、26日、2月1日、3月5日.

[昆虫分野: 奥島雄一] 4月6日、29日、6月12日、15日、26日、8月6日、9月16日、24日、10月1日、3月12日.

[動物分野: 江田伸司] 4月29日、6月15日、26日、7月9日、9月16日、24日、11月15日、1月12日

(2) 倉敷市内の自然に関する総合調査研究(調査日)

計延べ46回

[植物分野: 鐵慎太郎] 4月15日、23日、28日、5月5日、26日、6月10日、24日、25日、7月7日、8日、14

日、22日、8月12日、13日、9月28日、10月13日、14日、15日、11月11日、19日、12月9日、2月3日、11日、3月23日.

[植物分野: 狩山俊悟] 4月23日、6月25日、8月13日、10月15日、11月19日、12月7日、2月11日.

[昆虫分野: 奥島雄一] 5月24日、28日、6月24日、7月10日、29日、8月13日、19日、9月9日、13日、10月13日.

[動物分野: 江田伸司] 4月2日、6日、24日、10月5日、15日

2 分野別研究テーマ

- (1) 地学: 武智泰史
地質鉱物の研究.
- (2) 植物: 鐵慎太郎
ア 岡山県産植物の分類、地理学的研究.
イ 海岸植生の特性、海岸植物の生態の研究.
ウ 特殊岩地の植生、植物相の調査.
- (3) 植物: 狩山俊悟
ア 岡山県産植物の分類、地理学的研究.
イ 宇野確雄植物コレクションの分類学的研究.
ウ 「岡山県植物誌研究会」に対する研究支援.

エ 岡山県高梁市の植物相調査.

(4) 昆虫：奥島雄一

ア 岡山県の昆虫調査.

イ ジョウカイボン科(コウチュウ目)の分類学的研究.

ウ 自然史資料の収集と活用について.

(5) 動物：江田伸司

岡山県の動物調査.

3 研究業績などの公表

(1) 博物館講座「学芸員研究紹介」(教育普及事業に再掲)

1月8日、「変成岩の種類とでき方」、演者：武智泰史、10(0)名.

2月25日、「今年度に見つけた興味深い植物&石灰岩地の植物—学芸員研究紹介—」演者：鐵慎太郎・狩山俊悟、25(0)名.

3月11日、「ブッポウソウについて」演者：江田伸司・黒田聖子、17(3)名.

(2) 博物館講座「むしむし探検隊公開研究発表会」(教育普及事業に再掲)

3月21日、「収蔵庫の楽しみ方」演者：奥島雄一、50(15)名.

(3) 当館より発行された刊行物

倉敷市立自然史博物館研究報告第38号、3月25日、500部発行、A4判、30ページ、本文一部カラー、寄贈交換先へ配布するほか、1部1,260円(税込)で有料頒布.

収録報文(*は館外研究者)

[論文]

樽野博幸*・高橋芳樹*：備讃瀬戸海底産ヤベオオツノジカの顎骨化石ならびに山本コレクション一部標本の再同定

柏尾翔*・福田宏*：岡山県瀬戸内市沖から得られた裸鰓類2種の記録

鐵慎太郎：岡山県からズングリオヒシバ *Eleusine tristachya* (Lam.) Lam. (イネ科) を記録

[ノート]

狩山俊悟：岡山県植物誌資料(23) 岡山県のセリ科ウマノミツバ属

[短報]

小橋理絵子*：岡山県で40年ぶりに再発見された絶滅危惧種ムサシモ *Najas ancistrocarpa* A. Braun ex Magnus の生育状況と花形態の観察記録

(4) 当館以外の刊行物への寄稿(119件)

ア 武智泰史：地学担当(7件)

ペグマタイト、自然のおはなし、山陽新聞。(4月10日)

欧州・世界遺産の鉱山の鉱石、自然のおはなし、山陽新聞。(8月14日)

白金族元素、自然のおはなし、山陽新聞。(1月15日)

中国遼寧省長興島の三葉虫化石。しぜんしくらしき、(121):1。(6月1日)

ドイツ ランメルスベルグ鉱山の銅—亜鉛—鉛鉱石。しぜんしくらしき、(121):4。(6月1日)

南アフリカのざくろ石かんらん岩。しぜんしくらしき、(121):16。(6月1日)

ドイツ バイエレン州北東部のエクロジャイト。しぜんしくらしき、(121):16。(6月1日)

イ 鐵慎太郎：植物担当(15件)

野生のアネモネの仲間、花びらを持たない花。自然のおはなし、168、山陽新聞(さん太タイムズ)、(49899):6。(5月8日)

宇野確雄コレクションからロベリアソウ *Lobelia inflata* (キキョウ科) を見出す。しぜんしくらしき、(121):2-3。(6月1日)

ドイツ自然観察記2 —スラグ上の特殊植物、山地草原—。しぜんしくらしき、(121):12-15。(6月1日)

海岸に生える木・ハマゴウ、砂浜をはって育つ。自然のおはなし、173、山陽新聞(さん太タイムズ)、(50048):6。(10月9日)

ヨコヅナツチカメムシを倉敷市の市街地で採集。しぜんしくらしき、(122):6。(10月1日)

共著：狩山俊悟・鐵慎太郎、鹿久居島(古代体験の郷まほろば)で観察した植物。しぜんしくらしき、(122):7-8。(10月1日)

共著：狩山俊悟・鐵慎太郎、職場体験を終えて。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(370):12。(10月8日)

共著：鐵慎太郎・狩山俊悟。職場体験学習を終えて。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(371):14。(11月12日)

共著：鐵慎太郎・狩山俊悟。職場体験学習を終えて。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(375):8。(12月10日)

ドイツ自然観察記3 —ブロッケン山—。しぜんしくらしき、(123):7-9。(2月1日)

共著：榎本敬・鐵慎太郎。吉備路のお彼岸。しぜんしくらしき、(123):12。(2月1日)

共著：鐵慎太郎・狩山俊悟。津山市市場でヒゲシバが見つかりました。しぜんしくらしき、(123):12-13。(2月1日)

鐵慎太郎。野生化したニンジンボク。しぜんしくらしき、(123):16。(2月1日)

着生植物、木や岩に着き育つ。自然のおはなし、173、山陽新聞(さん太タイムズ)、(50197):6。(3月12日)

共著：鐵慎太郎・狩山俊悟。職場体験学習を終えて。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(375):8。(3月11日)

ウ 狩山俊悟：植物担当（39件）

第325回シダ観察会ー里庄町ー（2022年2月14日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(364)：2.（4月9日）

里庄町のへらシダ健在. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(364)：2.（4月9日）

博物館講座「タンポポ調査・西日本2020報告&海岸植物の世界ー学芸員研究紹介ー」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(364)：7.（4月9日）

第326回シダ観察会ー岡山市東区（旧瀬戸町）ー（2022年3月14日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(365)：11.（5月14日）

苫田郡鏡野町富西谷で観察したキク科植物. しぜんしくらしき、(121)：8.（6月1日）

友の会創立30周年記念祝賀会集合写真の配布について. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(366)：10.（6月11日）

第327回シダ観察会ー備前市（旧吉永町）ー（2022年4月10日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(366)：5.（6月11日）

赤磐市の溪谷で植物調査. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(366)：6.（6月11日）

第328回シダ観察会ー新見市（旧哲西町）ー（2022年5月15日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(367)：7.（7月9日）

大空山で植物調査. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(367)：8.（7月9日）

ミニ展示「岡山県のタンポポータンポポ調査・西日本2020の結果報告ー」まもなく終了. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(367)：12-13.（7月9日）

「YList」のデータをダウンロードできます. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(367)：13.（7月9日）

ミニ展示「妖怪の宿る植物たち」開催中. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(368)：11.（8月13日）

第329回シダ観察会ー久米郡美咲町（旧柳原町）ー（2022年6月13日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(368)：6.（8月13日）

岡山県南部で水草調査. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(368)：7.（8月13日）

第330回シダ観察会ー美作市（旧作東町）ー（2022年7月16日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(369)：4.（9月10日）

「岡山県野生生物目録2019」の旧バージョン公開. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(369)：9.（9月10日）

植物に妖怪が宿る!?. 自然のおはなし、172、山陽新聞（さん太タイムズ）.（9月11日）

朝鍋鷲ヶ山の植物. しぜんしくらしき、(122)：10.（10月1日）

共著：狩山俊悟・鐵慎太郎. 鹿久居島（古代体験の郷まほろば）で観察した植物. しぜんしくらしき、(122)：7.（10月1日）

第331回シダ観察会ー津山市（旧加茂町）ー（2022年8月8日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(370)：6.（10月8日）

共著：狩山俊悟・鐵慎太郎. 職場体験を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(370)：12.（10月8日）

身近な植物たち(16) オミナエシ. 倉敷の自然、(113)：26.（10月31日）

共著：鐵慎太郎・狩山俊悟. 職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(371)：14.（11月12日）

第332回シダ観察会ー新見市（旧大佐町）ー（2022年9月12日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(371)：7.（11月12日）

吉備高原でウスハアザミの調査. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(371)：8.（11月12日）

共著：鐵慎太郎・狩山俊悟. 職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(372)：13.（12月10日）

第333回シダ観察会ー真庭市（旧久世町）ー（2022年10月2日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(372)：5.（12月10日）

高梁市の石灰岩地でシダ観察. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(372)：6.（12月10日）

陸前高田市立博物館が開館. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(372)：7.（12月10日）

ミニ展示「干支（ウサギ）にちなんだ植物」開催中. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(373)：10.（1月14日）

スライド会「旅先の自然と植物たち2～日本の世界自然遺産～」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(373)：10.（1月14日）

第334回シダ観察会ー美作市（旧美作町）ー（2022年11月13日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(373)：4.（1月14日）

第335回シダ観察会ー井原市（旧美星町）ー（2022年12月12日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(374)：4.（2月11日）

他に例見ない特別な生態系、日本の世界自然遺産. 自然のおはなし、177、山陽新聞（さん太タイムズ）.（2月12日）

第336回シダ観察会ー笠岡市六島ー（2023年1月21日）報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(375)：3.（3月11日）

博物館講座「今年度に見つけた興味深い植物&石灰岩地の植物」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(375)：4.（3月11日）

共著：鐵慎太郎・狩山俊悟．職場体験学習を終えて．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(375)：8．(3月11日)

身近な植物たち(17) コウヤボウキ．倉敷の自然、(114)：18．(3月31日)

エ 奥島雄一：昆虫担当 (55件)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(364)：1．(4月9日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(364)：3．(4月9日)

「むしむし探検隊研究発表会」報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(364)：7．(4月9日)

リサイクル市のご案内．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(364)：8．(4月9日)

ミニ水族館新顔．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(364)：8．(4月9日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(365)：10．(5月14日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(365)：12．(5月14日)

「むしむし探検隊」オリエンテーション報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(365)：16．(5月14日)

ミニ水族館の新顔．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(365)：16．(5月14日)

リサイクル市のご案内．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(365)：16．(5月14日)

#おうち観察会 4. しぜんしくらしき、(121)：5-6．(6月1日)

竹林寺山で見られた秋の昆虫．しぜんしくらしき、(121)：7．(6月1日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(366)：4．(6月11日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(366)：6．(6月11日)

ミニ水族館の新顔．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(366)：10．(6月11日)

キンイロジョウカイ．自然のおはなし、169、山陽新聞(さん太タイムズ)、(49933)：6．(6月12日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(367)：6-7．(7月9日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(367)：8．(7月9日)

新館紹介「タマムシハンドブック」．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(367)：(7月9日)

ミニ水族館の新顔．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(367)：12．(7月9日)

倉敷市立自然史博物館のお知らせ．KURAKON、(98)：548．(7月21日)

【新刊紹介】「怪虫ざんまい 今日も昆虫学者は挙動不審」小松貴著、新潮社．KURAKON、(98)：548-549．(7月21日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(368)：5．(8月13日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(368)：7．(8月13日)

ミニ水族館の新顔．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(368)：11．(8月13日)

博物館講座「昆虫の標本の作り方」報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(368)：11．(8月13日)

リサイクル市のご案内．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(368)：11．(8月13日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(369)：3．(9月10日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(369)：5．(9月10日)

ミニ水族館の新顔．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(369)：9．(9月10日)

寺山城跡周辺の昆虫．しぜんしくらしき、(122)：11-12．(10月1日)

種松山の昆虫．しぜんしくらしき、(122)：13-14．(10月1日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(370)：5．(10月8日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(370)：7．(10月8日)

ミニ水族館の新顔．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(370)：11．(10月8日)

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内．KURAKON、(99)：556-557．(11月10日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(371)：6．(11月12日)

昆虫グループ活動報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(371)：8．(11月12日)

「倉敷にクジラがやってきた！」関連イベント報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(371)：13．(11月12日)

倉敷・水島港で発見のクジラ．自然のおはなし、174、山陽新聞(さん太タイムズ)、(50082)：6．(11月12日)

「倉敷にクジラがやってきた！」関連イベント報告．倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(372)：2．(12月10日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(372)：4。(12月10日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(372)：6。(12月10日)

ミニ水族館の新顔。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(372)：10。(12月10日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(373)：3。(1月14日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(373)：5。(1月14日)

岡山県におけるヒラタトガリカメムシの追加記録。しぜんしくらしき、(123)：4。(2月1日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(374)：4。(2月11日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(374)：5。(2月11日)

共著：奥島雄一・河手洋晶・河手優磨、ヒラタクワガタ雌雄型の記録。月刊むし、東京、(625)：41。(3月1日)

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：脊椎動物グループの活動。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(375)：2。(3月11日)

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(375)：4。(3月11日)

自然史博物館で楽しむ岡山の昆虫。In 岡山大学文明動態学研究所編、大学的岡山ガイド—こだわりの歩き方、第1部 自然と生物、pp. 65-82, pl. 1, 昭和堂、京都。(3月31日)

共著：奥島雄一・白川蒼士・白川奈緒美、青い翅脈のクマゼミを確認。すずむし、倉敷、(158)：51-52。(3月31日)

ジョウカイボン。In レッドデータブックとつとり第3版2022、鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物、p. 115、鳥取県生活環境部豊かな自然課。(3月31日)

オ 江田伸司：動物担当(3件)

16日開幕「倉敷動物妖怪展」。自然のおはなし、170、山陽新聞(さん太タイムズ)、(49960)：7。(7月10日)

動物にまつわる岡山の妖怪。自然のおはなし、175、山陽新聞(さん太タイムズ)、(50109)：6。(12月11日)

鳥取県に「菊桜」があるの？。佐藤清明ゆかりの「菊桜」、p. 26。菊桜育成保存会。(2月15日)

鳥は恐竜！？。Colorful、51：4-5。(3月)

(5) 発表・講演

ア 狩山俊悟：植物担当(1件)

共同(友國秀斗・草竹恵実・柳洋介・前田綾子・狩山俊悟・廣田峻・陶山佳久・三村真紀子)。同倍数性のイカリソウ属はどのように種分化したのか？(ポスター発表)。第54回種生物学シンポジウム、オンライン。(11月26日)

4 査読

(1) 鐵慎太郎：植物担当(1件)

11月10日 千葉県立中央博物館研究報告。

(2) 奥島雄一：昆虫担当(1件)

10月22日 Acta zooloogica bulgarica, Sofia, Bulgaria.

Ⅲ 展示事業

1 常設展

[エントランスホール]

動くナウマンゾウの母子、倉敷の化石動物。

[第1展示室：岡山県のなりたち] 展示数約270点

地球と生物の歴史、岡山県の地史、岡山県の地形、ナウマンゾウ骨格模型、倉敷市の地質と岩石、岡山県のスカルン、岡山県の岩石と鉱物、倉敷周辺の平野のなりたち。

[第2展示室：岡山県のいきもの] 展示数約1,000点

岡山県の地形・地質と気候、岡山県の自然といきもの、阿哲の石灰岩台地、自然は変わる、ビデオコーナー。

[第3展示室：昆虫の世界] 展示数約9,200点

体のしくみ、昆虫の歴史と分類、色と形のふしぎ、世界の昆虫、昆虫の生活、当館の昆虫コレクション、話題の虫。

[第4展示室：植物の世界] 展示数約1,000点

生物の五界説、植物のかたち、植物のなかま、植物の分布、岡山県の植物、倉敷市の植物、くらしの中の植物、自由展示。

2 特別展

(1) 実施概要

標題：第31回特別展「倉敷動物妖怪展 at 自然史博物館」

会期：令和4年7月16日(土)～9月25日(日)

会場：特別展示室・講義室

主催：倉敷市立自然史博物館・里庄町立図書館

協力：倉敷市立自然史博物館友の会・佐藤清明資料保存会

観覧料：通常観覧料

チラシ：61,000枚 高梁川流域の児童・幼児に配布

備考：高梁川流域連携中枢都市圏事業

(2) 展示内容

岡山県を中心とした地域に伝わる動物にまつわる妖怪として鬼・件・河童・天狗・ハンザキ・スネコスリなどを取り上げ、併せて自然科学の視点でニホンオオカミは岡山にいたか、地球史上最大の動物は何か、天狗の翼で飛べるかなどを自然史博物館としての観点から考察を加え、検証するとともに、関連資料を展示した。



(3) 関連イベント ※：里庄町立図書館のイベント

「博物学者荒俣宏氏による講演会」(8月6日)

「民俗学者木下浩氏による展示解説会」(7月17日・9月11日)

「色鉛筆画家越山洋三氏による妖怪絵画教室」(9月10日)

「里庄町立図書館による妖怪のおはなし会」(8月20日)

「里庄町立図書館による妖怪本の紹介」(8月1日～29日)

「里庄町立図書館による妖怪のおはなし会」※(8月27日)

「里庄町立図書館における妖怪パネル展」※(10月19日～30日)

(4) 実績

会期中の観覧者数 16,608名

3 特別企画展

(1) 実施概要

標題：「倉敷にクジラがやってきた！～海はつながっている～」

会期：令和4年10月10日(月・祝)～12月3日(土)

会場：特別展示室

主催：倉敷市立自然史博物館・倉敷市立自然史博物館友の会

協力：岡山理科大学・国立科学博物館・なにわホネネネ団・山田瑞希・岡山県立倉敷中央高等学校・岡山大学資源植物科学研究所

観覧料：通常観覧料

事業目的：令和3年9月に水島港で発見されたクジラの全身骨格標本等を展示公開することで、地元の瀬戸内海から太平洋、高梁川流域へと視野を広げて生物多様性と環境問題等について感じて考えてもらう機会とする。

備考：高梁川流域連携中枢都市圏事業

(2) 展示内容

水島港で発見された全長約11mのニタリクジラ全身骨格および心臓の標本を中心とし、クジラ漂着と海の環境問題を交えたオリジナル紙芝居パネル、外洋由来のアオウミガメ(玉野市)剥製やココヤシ(笠岡市)も展示した。



(3) 関連イベント

「クジラものしりカード作り」(10月10日)

「クジラにさわれる展示解説会」(会期中8回以上)

かみしばい「くじらのこえ うみのこえ」(会期中2回)

ほねほね鑑定団～海のなかまたち～(11月3日)

クジラスタンプでハンカチ作り(11月5日)

シンポジウム「倉敷にクジラがやってきた！」(11月6日)

(4) 実績

会期中の観覧者数 9,093名

満足度93%(n=497)

4 特別陳列

(1) 「新着資料展2021<総合>」(継続)～4月10日、特別展示室。

(2) 「新着資料展<昆虫 澤田博仁コレクション>」4月16日～6月26日、特別展示室、澤田博仁コレクション(約16,000点)を展示。

(3) 「畠田和一貝類コレクション展6 畠田和一が採集していた岡山県の絶滅危惧種2」4月9日～9月25日、2階事務室前。

(4) 「島田和一貝類コレクション展7 島田和一が採集していた岡山県の絶滅危惧種3」10月8日～3月26日、2階事務室前。

(5) 「むしむしサロン」 8月20日～9月4日、講義室、一般からの持ち寄りで生き虫を展示. 19名35ケース。

(6) 「第30回しぜんしくらしき賞作品展」12月9日～2月8日、特別展示室、共催：倉敷市立自然史博物館友の会、出品点数19点。

(7) 「折り紙昆虫展」2月11日～4月9日、特別展示室。
事業目的：日本文化の「折り紙」と自然史標本の「昆虫」を融合させ展示し、見事に表現された「折り紙」の素晴らしさと自然のリアルを対比しながら味わっていただき新たな視点から自然への関心や愛着を深めてもらうことを目的とする。また、ふだん自然史博物館を訪れることのない方々の来館を促す。
展示内容：トップレベルの折り紙作家江頭聖大氏の昆虫を題材としたオリジナル作品40点（うち新作13点）を展示。あわせてモデルとなった昆虫の当館が所蔵する実物標本も展示した。

5 ミニ水族館の展示（敬称略）

- (1) 淡水魚の管理委託
倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科山野研究室
- (2) アユモドキ飼育展示
協力：岡山市教育委員会・倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科山野研究室

(3) 動植物の提供など

[植物水槽]

6月7日	イバラモ	館員
6月14日	リュウノヒゲモ	館員
9月30日	オオバナノイトタヌキモ	館員

[昆虫水槽]

4月16日	クロゲンゴロウ、トビケラ類、カワニナ類 トンガリササノハガイ類、エビ類、ドジョウ	中村 壘
4月25日	オニヤンマ幼虫、サナエトンボ科幼虫	館員
4月29日	トンボ科幼虫、ヒメガムシ、エビ類、タニシ類	館員
5月4日	タイコウチ、ガムシ類	館員
6月24日	アメンボ類、オニヤンマ幼虫、コオニヤンマヤンマ科幼虫、エビ類	館員
7月10日	トンボ科幼虫、オニヤンマ幼虫、エゾトンボ科幼虫、ヒメアメンボ、エビ類、タニシ類	館員
7月24日	ガムシ	磯野裕昭
8月12日	ガムシ	磯野倫応・磯野裕昭

9月9日 ガムシ、ヒメガムシ、クロゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、コオイムシ、ミズカマキリ、マツモムシ、エビ類 岡本 忠
11月5日 オオヤマトンボ幼虫 内海賢二

6 常設展示の更改

(1) 第3展示室

「当館の昆虫コレクション」随時更新。

「話題の虫」：タイワントビナナフシ、コクワガタ、キンイロジョウカイ、アオヘリアオゴミムシ、オオムラサキ、ヒラタクワガタの雌雄型。

(2) 第4展示室「植物の自由展示」

2月4日～6月3日 「磯に生える野菊たち」。
6月4日～7月14日 「タンポポ調査・西日本2020」。
7月15日～10月6日 「妖怪の宿る植物たち」。
10月7日～12月2日 「海草～種子植物界のクジラ～」。
12月3日～2月24日 「干支(ウサギ)にちなんだ植物」。
1月20日～2月24日 「自然素材の虫たち」。
2月25日～ 「牧野博士が採集した竹箴類標本」。

7 生きた動植物の展示

1月5日～1月20日 「春の七草」。

提供：貝原千恵子

8 恐竜と季節の植物のぬり絵

- (1) 恐竜：ティラノサウルス、トリケラトプス、プテラノドン。
- (2) 季節の植物：ゲンゲ（4月）、アケビ、ミツバアケビ（5月）、ナワシロイチゴ、ノイバラ、ノアザミ（6月）、ツユクサ（7月）、メマツヨイグサ（8月）、ミズアオイ、チャノキ（9月）、イシミカワ（10月）、コナラ（11月）、ナルトリイバラ（12月）、ホトケノザ（1月）、ナズナ・ウメ（2月）、オオイヌノフグリ（3月）

9 まちかど博物館（高梁川流域連携中枢都市圏事業）

当館が所蔵する岩石、鉱物、化石、植物、昆虫、動物などの本物の標本を、移動可能な展示ユニット計60台に仕立てて、公共性の高い施設、または市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出ししている。

令和4年度新規貸出実績：延べ22施設、53台（継続含まず、更新含む）。設置先（複数回は単一化）：倉敷市立玉島図書館、倉敷市立児島図書館、倉敷市立中央図書館、ライフパーク倉敷図書室、倉敷市立船徳図書館、倉敷市立水島図書館、教育企画総務課、倉敷市立倉敷西小学校、倉敷市立下津井西小学校、倉敷児童館、児島児童館、倉敷マリア幼稚園、くらしき作陽大学附属こども園、たから保育園、中州保育園、第一福田保育園、倉敷駅西ビル、倉敷昆虫館、玉島信用金庫鴨方支店、ちぐさ研究室、奈義町教育委員会。

10 他館展示協力

4月1日～3月31日 倉敷埋蔵文化財センター、常設展（哺乳類化石を貸出）。

4月1日～3月31日 岡山県自然保護センター、常設展（哺乳類化石を貸出）。

4月1日～3月31日 岡山県立博物館、常設展（哺乳類化石を貸出）。

IV 教育普及事業

※行事総参加者数 4,263 (1,586) 名（カッコ内は中学生以下の参加人数＝倉敷市第七次総合計画指標「自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数」）（ただし、自然史博物館まつり、ないと・みゅーじあむ、レファレンス、博物館実習生等を含めない）

1 自然観察会 計16回 参加者合計712(237)名

4月23日 第371回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ」、59(26)名。

4月29日 第372回自然観察会「おかやま自然探訪69」浅口郡里庄町、25(2)名。

5月28日 第373回自然観察会「中国山地の植物観察6～朝鍋鷲ヶ山～」真庭市蒜山、30(0)名。

6月25日 第374回自然観察会「ブッポウソウ観察会 in 鳥取」鳥取県南部町、18(2)名。

6月26日 第375回自然観察会「高梁川流域自然たんけん3」高梁市川面町、32(4)名。

7月9日 第376回自然観察会「ブッポウソウ巣立ち観察会in 岡山」吉備中央町・高梁市、17(5)名。

7月10日 第377回自然観察会「夏だ！昆虫採集」倉敷市粒江、134(62)名。

8月13日 第378回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2022夏」倉敷市寿町、71(26)名。

9月11日 第379回自然観察会「ミズアオイ観察会」倉敷市加須山、52(16)名。

9月24日 第380回自然観察会「高梁川流域自然たんけん4」総社市上林、43(12)名。

10月1日 第381回自然観察会「おかやま自然探訪70」津山市、26(3)名。

10月15日 第382回自然観察会「楽しい魚採り3」倉敷市酒津、42(15)名。

11月19日 第383回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2022年秋」倉敷市寿町、58(30)名。

12月4日 第384回自然観察会「河原の岩石の観察」新見市石蟹、29(6)名。

2月11日 第386回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2023年冬」倉敷市寿町、43(20)。

3月25日 第385回自然観察会「ミズアオイの種まき会」倉敷市加須山、33(8)名。

2 博物館講座 計7回 参加者合計233(91)名

7月24日 「昆虫標本の作り方」、60(31)名。

7月30日 「植物の採集方法と標本の作り方」、10(5)名。

1月8日 「学芸員研究紹介－地学－：変成岩の種類とでき方」、10(0)名。

2月25日 「学芸員研究紹介－植物－：今年度に見つけた興味深い植物&石灰岩地の植物」、29(0)名。

2月26日 「昆虫折り紙教室」、107(52)名。

3月11日 「学芸員研究紹介－動物－：ブッポウソウのお話」、17(3)名。

3月21日 「むしむし探検隊研究発表会」、後記「むしむし探検隊」に記載。



昆虫標本の作り方

3 特別展・特別企画展・特別陳列関連イベント 参加者合計437(80)名

8月6日 講演会「博物学者荒俣宏、妖怪を語る～この世に存在した...らしい妖怪たち～」、185名。

8月20日 「里庄町立図書館による妖怪のおはなし会」、13(3)名。

7月17日 「民俗学者木下浩氏による展示解説会」、46(17)名。

9月10日 「色鉛筆画家越山洋三氏による妖怪絵画教室」17(9)名。

9月11日 「民俗学者木下浩氏による展示解説会」、38(5)名。

11月6日 シンポジウム「倉敷にクジラがやってきた!」、138(46)名。

4 自然の標本なんでも相談会

8月14日 事前に標本等を預かる形で開催、35(12)名。

5 地学教室

1月15日 「めのうの研磨」、19(12)名。

6 むしむし探検隊 参加者延べ144(82)名。

隊長：奥島雄一（館員）、サポートスタッフ：岡野貴司、中野一成、磯野裕昭、加藤学、末長晴輝、武田寛生、武田雅生、藤本徹哉、平田匠、神田佐奈恵（館員）、隊員（小5～中3）11名

4月17日 入隊説明会&オリエンテーション 25(13)名。

6月12日 第1回探検 笠岡市大飛島、16(11)名。

8月20日～ 9月4日 「むしむしサロン」出品

14(11)名。

9月1日～10月16日 「しぜんしくらしき賞」応募

11(11)名。

11月3日 「自然史博物館まつり」 16(11)名。

3月12日 第2回探検 新見市井倉、12(10)名。

3月21日 研究発表会（倉敷市立美術館）、50(15)名。

「博物館の達人」認定 1名。

7 自然素材を使った手作り教室（計12回、延べ365(171)名）

4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、8月14日、9月11日、10月9日、11月5日、12月11日、1月8日、2月12日、3月12日（原則毎月第2日曜日開催）。

8 スライド映写会

12月10日 スライド会「旅先の自然と植物たち2～日本の世界自然遺産～」23名(0)名。

9 昆虫標本作り体験教室（計12回、36(22)名）

希望者（事前予約）を対象とした昆虫標本作り

7月21日 2名、7月23日 2名、7月27日 2名、8月16日 4名、8月17日 2名、8月21日 3名、8月24日 5名、9月3日 4名、9月16日 4名、10月18日 4名、11月15日 2名、2月14日 2名。

10 第22回 11月3日は自然史博物館まつり（中学生以下の人数含めない）

(1) 開催日：11月3日（木、祝）、5日（土）、6日（日）の分散開催

(2) 開催イベント

ア 11月3日

木の化石探し、いもむしランド、ほねほね鑑定団～海のなかまたちから、バルーンアート、博物館のお宝紹介（昆虫編・植物編）

イ 11月5日

自然素地のおもちゃやリース作り、博物館のお宝紹介（動物編）、クジラスタンブでハンカチ作り、野鳥の羽でしおり作り&羽のお話

ウ 11月6日

空飛ぶタネの模型づくり、花の名前当てクイズ、博物館のお宝紹介（地学編）

(3) 来場者数：2,007人

11 ないと・みゅーじあむ（中学生以下の人数含めない）

(1) 開催日時：2月25日（土）18～20時

(2) イベント：ミニコンサート、ガイドツアー、ワークショップ、めざせ！ネイチャークイズ王

(3) 来場者数：742人

12 出版物

[パオちゃん's EYE]

No. 61 「タンポポ調査・西日本2020の結果」狩山俊悟（4月1日）

No. 62 「オオムギスゲ」鐵慎太朗（5月1日）

No. 63 「帯江銅山」武智泰史（6月1日）

No. 64 「倉敷動物妖怪展 a t 自然史博物館」江田伸司（7月1日）

No. 65 「アオヘリアオゴミムシ」奥島雄一（8月1日）

No. 66 「ガジュマル～妖怪の宿る植物～」狩山俊悟（9月1日）

No. 67 「空を飛ぶウリのタネ、実」鐵慎太朗（10月1日）

No. 68 「ナウマンゾウ」武智泰史（11月1日）

No. 69 「倉敷動物妖怪展 a t 自然史博物館」江田伸司（12月1日）

No. 70 「オオムラサキ」奥島雄一（1月1日）

No. 71 「日本の世界自然遺産」狩山俊悟（2月1日）

No. 72 「クモラン」鐵慎太朗（3月1日）

13 レファレンス

質問、同定依頼、研究協力、原稿校閲、マスコミ取材等への対応。

地学96件、植物309件、昆虫436件、動物159件、その他15件（計1,015件）。

14 博物館実習生等の受け入れ（人数含めない）

(1) 博物館実習

人数：4名

岩崎美穂（東京大学）、金子峻大（岡山大学大学院）、出口歩海（岡山大学）、中塚新（岡山理科大学）（50音順）

期間：令和4年8月9日～14日

(2) 博物館見学実習 [当館職員が対応したもの]

6月26日 岡山理科大学 45名

11月12日 岡山理科大学 19名

10月29日 岡山大学文学部 30名

11月25日 岡山商科大学 4名

- (3) インターンシップ 3名
 昆虫分野：8月2日～7日 藤田綾（就実大学）.
 昆虫分野：8月19日～21日 吾郷愛翔、佐藤快音（くらしき作陽大学）.

- (4) 小中高校生の実習 計19名
 [職場体験]

7月5日～7月7日 倉敷市立水島中学校2名.
 8月30日～8月31日 倉敷市立南中学校4名.
 9月6日～9月8日 倉敷市立玉島北中学校3名.
 10月18日～10月20日 倉敷市立東中学校1名.
 10月19日～10月21日 倉敷市立連島南中学校3名.
 10月25日～10月27日 倉敷市立船穂中学校2名.
 11月15日～11月17日 倉敷市立西中学校2名.
 2月8日～2月10日 倉敷天城中学校2名.

15 講師派遣（「出前講座」含む） 計30回、参加者合計
 2,004(846)名（重複除く）

- (1) 鐵慎太郎：植物担当（7回、254(67)名）
 4月24日 「自然観察会『真備美しい森の春』」、倉敷市立自然史博物館友の会、61(14)名.
 6月25日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話」、鷺羽山ビジターセンター、23(5)名.
 8月4日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話」、かわべっこ児童クラブ、50(44)名.
 8月6日 「羅生門ガイド養成講座」、(高梁川流域連携中枢都市圏事業) 新見市教育委員会 21(1)名.
 10月15日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話」、倉敷の自然をまもる会、9(0)名.
 1月15日 「世界遺産登録を目指す島、長島の自然」、倉敷市立自然史博物館友の会、25(0)名.
 3月5日 「牧野富太郎と新見の植物」、新見市教育委員会、65(3)名.

- (2) 狩山俊悟：植物担当（15回、約842(0)名、重複除く）
 4月11日 「市民登山学校4月定例講座『高山植物について』」、高松市スポーツ協会、約80(0)名.
 4月24日 「自然観察会『真備美しい森の春』」、倉敷市立自然史博物館友の会、61(14)名。（重複）
 6月25日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話」、鷺羽山ビジターセンター、23(5)名。（重複）
 7月27日 「出前講座／倉敷市立自然史博物館について（博物館資料保存論）」、倉敷芸術科学大学、50(0)名.
 10月9日 「はなとり園の植物たち」、華鶴大塚美術館、12(0)名.
 10月15日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話」、倉敷の自然をまもる会、9(0)名。（重複）
 11月17日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、62(0)名.
 11月19日 「出前講座／身近な野生植物の観察と自然史博物館について」、倉敷市立短期大学、46(0)名.

- 11月24日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、62(0)名.
 12月1日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、62(0)名.
 12月8日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、62(0)名.
 12月15日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、62(0)名.
 1月12日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、62(0)名.
 1月15日 「世界遺産登録を目指す島、長島の自然」、倉敷市立自然史博物館友の会、25(0)名。（重複）
 1月19日 「博物館資料論」、倉敷芸術科学大学、62(0)名.
 2月27日 「森林資源学」、福山市立大学、55(0)名.
 2月28日 「森林資源学」、福山市立大学、55(0)名.
 3月1日 「森林資源学」、福山市立大学、55(0)名.
 3月2日 「森林資源学」、福山市立大学、55(0)名.
 3月5日 「牧野富太郎と新見の植物」、新見市教育委員会、65(3)名。（重複）

- (3) 奥島雄一：昆虫担当（8回、908(779)名、重複除く）
 5月28日 「どこでも昆虫採集」、児島児童館 6(5)名.
 7月15日 「どこでも昆虫採集」、(創立50周年記念児童理科教室) 倉敷市立万寿東小学校 650(600)名.
 7月29日 「どこでも昆虫採集」 新田公民会 20(9)名.
 8月6日 「羅生門ガイド養成講座」、(高梁川流域連携中枢都市圏事業) 新見市教育委員会 21(1)名。（重複）
 8月19日 「どこでも昆虫採集」、上成キラキラ児童クラブ 100(90)名.
 9月9日 「どこでも昆虫採集」、くらしき作陽大学附属認定こども園（4歳児） 40(37)名.
 9月13日 「どこでも昆虫採集」、くらしき作陽大学附属認定こども園（5歳児） 40(38)名.
 10月13日 「体験研修会(ネイチャーウォッチング)」、倉敷市子ども未来部保育・幼稚園課 22(0)名.
 10月29日 「学芸員資格取得のための博物館及び美術館における実習」、岡山大学文学部 30(0)名.

16 マスコミ報道（館名、氏名公表分のみ）（71件）

- (1) 倉敷市立自然史博物館（17件）
 4月21日以降放映 たまテレ、「新着資料展〈昆虫 澤田博仁コレクション〉」.
 4月28日発行 山陽新聞（地域ワイド）、「中国地方初記録外来昆虫、倉敷市立自然史博物館公開、アカハネオンブバッタ、ツマグロツユムシ、ユーカリハムシ、県南在住愛好家が発見」.
 5月3日以降放映 たまテレ、「中国地方初記録の3種の外来昆虫」.

5月13日以降放映 RNC西日本放送、「新着資料展〈昆虫 澤田博仁コレクション〉」.

9月7日放映 OHKテレビ、ピンクのバツタ (クビキリギス).

9月15日公開 「ホネホネ団」「秘密基地」……。博物館のサークル活動に見る“自家発電”の仕組み(前編)、文化観光コーチングチーム「HIRAKU」

(<https://hiraku-gov.note.jp/n/n501275b3e1a0>).

9月30日以降発行 山陽新聞、黒いバツタ.

11月3日以降放映 たまテレ、「自然史博物館まつり」.

12月13日以降発行 山陽新聞、「しぜんしくらしき賞作品展」.

12月22日以降放映 たまテレ、「しぜんしくらしき賞作品展」.

2月13日発行 山陽新聞(おかくらプラス)、「折り紙で昆虫作ろう/倉敷市立自然史博物館/26日に体験教室」.

2月17日放映 RSK山陽放送テレビ、「いまドキッ!」「月刊くらしき情報局/倉敷市立自然史博物館「折り紙の展覧会」」.

2月22日以降放映 たまテレ、「折り紙昆虫展」.

2月26日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「大人も子どもも夢中!昆虫折り紙教室」.

2月24日以降放映 RNC西日本放送、「折り紙昆虫展」.

3月19日発行 山陽新聞(タウン)、「動き出しそう 折り紙って本当?/「カミ技」で昆虫制作/江頭さん(大阪)が40点展示/倉敷」.

3月29日発行 山陽新聞(ちまた)、「見知らぬ花や鳥 施設に聞く」.

(2) 武智泰史：地学担当 (3件)

6月17日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「6月・7月催し物」

12月16日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「鉄鉱石について」

12月28日 読売新聞(夕刊)、あちこち聖地「王子が岳(岡山県玉野市)」.

(3) 鐵慎太郎：植物担当 (6件)

4月15日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「海岸の植物、キク」.

5月17日 鹿児島テレビ、「かごnew」、「タンポポの綿毛の飛距離」.

9月16日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「多肉植物」.

9月22日 RSK山陽報告、「RSKイブニングニュース」、「子どものおしりみたいなきのこ発見!」.

2月17日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「今年見つけた興味深い植物」.

3月5日 NHK、「岡山 NEWS WEB」、「植物学者の牧野博士と新見市とのかかわりを紹介する市民講座」.

(4) 狩山俊悟：植物担当 (7件)

8月19日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「日本の世界自然遺産5か所の自然」.

10月2日発行 山陽新聞、「標本100万点突破を記念、秘蔵お宝100選 SNSで紹介、9割超が寄贈品、処分する前に相談して」.

1月5日発行 読売新聞、「倉敷・松島巡り、特有の植物観察」.

1月7日発行 山陽新聞、「葉や花 ウサギっぼい?、えとちなむ植物展、倉敷・自然史博物館」.

1月13日発行 毎日新聞、「倉敷市立自然史博物館開館40年、自然環境何でも聞いて、所蔵標本は100万点超!、アッケシソウ自生地確認、保護活動誕生の“助産師”に」.

1月20日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「奄美群島の自然」.

3月31日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ、「倉敷市立自然史博物館での40年を振り返って」.

(5) 奥島雄一：昆虫担当 (36件)

5月20日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「触れる毛虫」.

6月18日~7月3日放映 OHK(YouTube、イオンモール岡山館内)、「haremachiスペシャリスト」、昆虫「奥島雄一」.

6月22日発行 山陽新聞(おかくらプラス)、昆虫標本1.6万点ずらり、倉敷・自然史博物館に澤田さん(岡山)寄贈、バツタやチョウ絶滅危惧I類も.

7月10日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「親子で生き物を見つける「夏だ!昆虫採集」」.

8月3日放映 山陽放送テレビ、「ライブ5時 いまドキッ」、「謎の飛行物体の正体を追え」(ミノムシ).

8月4日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「倉敷市立自然史博物館の収蔵品が100万点突破」.

8月11日放映 OHK岡山放送、「OHK Live News」、「自然のふしぎ、全身真っ黒のバツタを発見」.

8月20日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「昆虫愛好家たちが採集、自慢の生きた昆虫を展示」.

8月29日放映 KSB瀬戸内海放送、「News Park KSB」、「園児が見つけた黒いバツタ正体は」.

9月7日以降 山陽新聞(玉野版)、「幸せをよぶブルービー」.

9月15日発行 山陽新聞(作州ワイド版)、「旭中1年神浦さん/幸運?のバツタ見つけた/自宅近く全身ピンク「珍しい色」」

10月2日発行 山陽新聞(日曜ワイド)、「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝100選SNSで紹介/標本100万点突破を記念/9割超が寄贈品「処分する前に相談して」」

10月10日放映 KSB瀬戸内海放送、「News Park KSB」、「水島港で見つかった「ニタリクジラ」が全身骨格標本に/12月3日まで展示/岡山・倉敷市」.

10月10日放映 OHK岡山放送、「OHK Live News」、「巨大クジラが帰ってきた！全長11メートル “骨格標本”を博物館に初展示【岡山・倉敷市】」。

10月10日以降放映 たまテレ、「倉敷にクジラがやって来た！」。

10月13日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「水島で見つかった巨大クジラ 骨格標本が初展示」。

10月18日放送 山陽放送ラジオ、「あも〜れ！マッタリーノ」、「ラジまるレポート」、「倉敷にクジラがやってきた！」。

10月19日放映 NHKテレビ(岡山)、「もぎたて！」、「クジラが骨格標本で戻って来た！倉敷市立自然史博物館」。

10月20日放送 NHKラジオ(岡山)。「ニュース」、「クジラが骨格標本で戻って来た！倉敷市立自然史博物館」。

10月21日発行 さりお、「巨大クジラが帰って来た！全長11m “骨格標本”を博物館に初展示」。

10月21日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「倉敷にクジラが帰って来た」。

10月21日放映 RSK山陽放送テレビ、「イブニングニュース」、「帰ってきたクジラの「標本」／骨は語る／1年前発見のクジラ／骨格標本になって展示中」。

10月発行 山陽新聞、白いクビキリギス

11月23日発行 読売新聞(岡山)、「漂着クジラ 迫力の標本 倉敷」。

11月3日放送 エフエムくらしき、「ぼっけーくらしき！ラジオまるかじり」、「特別企画展『倉敷にクジラがやってきた！』、自然史博物館まつり」。

11月11日発行 山陽新聞(おからプラス)、「骨格11メートル超クジラ大きい！／昨秋、水島港で発見 倉敷・自然史博物館 標本展示／触れる解説会も予定」。

11月23日発行 読売新聞(岡山)、「漂着クジラ 迫力の標本 倉敷」。

11月30日発行 朝日新聞(岡山)、「クジラ骨格標本フロア悠々／倉敷・水島港で発見の死骸全身展示／「環境保護への気付きの機会に」」。

12月16日発行 毎日新聞(岡山)、「虫好き育て／知識を社会に／—倉敷市立自然史博物館—／「むしむし探検隊」20年／採集・標本～研究発表 小中高生を指導／OB、OGらも活動サポート」。

1月25日放送 山陽放送ラジオ、「あも〜れ！マッタリーノ」、「ラジまるレポート」、「第30回しぜんしくらしき賞作品展」。

2月12日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「倉敷市立自然史博物館 折り紙で作った昆虫を展示」。

2月23日放送 山陽放送ラジオ、「朝耳らじおGoGo」、「ラジまるでGOGO」、「折り紙昆虫展」(神田)。

3月10日以降放映 たまテレ、「ヒラタクワガタ雌雄型発見」。

3月11日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「倉敷市内の親子 ヒラタクワガタの雌雄型を発見」。

3月12日発行 山陽新聞(全県版)。「体の左右で特徴異なる／「雌雄型」ヒラタクワガタ／倉敷の河手さん親子採集／自然史博物館標本展示」。

3月17日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「ヒラタクワガタ／折り紙昆虫展」。

(6) 江田伸司：動物担当(2件)

7月15日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「第31回特別展『倉敷動物妖怪展 at 自然史博物館』について」。

11月18日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「身近に観察できるカワセミ・ジョウビタキについて」。

17 学校用標本の貸出

小学校用昆虫標本 0件

化石標本セット 1件

18 倉敷市立自然史博物館友の会の活動

(1) 会員計 780名(402組)(※令和5年3月31日現在)

個人241名、家族533名(155組)、賛助6組

(2) 役員(*は幹事兼務)

[会長] 吉岡勉。

[副会長] 榊原久美子、溝手啓子、山崎法子、片岡博行、古谷太一、中田太海、安原信一郎、小野行弘、狩山俊悟、高嶋幸慶、杉本紀明。

[評議員] 青野孝昭、安達由莉*、泉川拓子*、磯野裕昭*、磯野倫広*、伊藤邦夫、稲神邦代*、入江和喜*、植松志帆*、植松蒼*、江田伸司*、榎本敬*、大島宏美*、大山望実*、奥島雄一*、小澤佑二、小野行弘、片岡法子*、片岡博行、片山久*、狩山俊悟、川崎嘉子*、木下延子*、木村浩子*、國忠高広*、古谷太一、小橋理絵子*、榊原久美子、坂本明弘*、島岡浩恵*、白神加奈子*、末長晴輝*、杉本紀明、裾分由美子*、高嶋幸慶、武田寛生*、武田雅生*、武智泰史*、鐵慎太郎*、中田太海、中村雅江*、野島淑子*、橋本恵子*、橋本響*、橋本真由子*、原田愛*、廣瀬正明、藤野睦子*、松村真佐子*、溝手啓子、森下裕子*、安原信一郎、山崎法子、雪江祥貴*、吉岡勉。

[会計監査] 高橋元、守安敦。

(3) 自然観察会(*は博物館と共催、カッコ内は中学生以下)

友の会行事のみ参加者数 計255(33)名。

4月23日 第652回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ 2022年春」*倉敷市寿町 倉敷みらい公園

4月24日 第653回自然観察会「真備美しい森の春」倉敷市真備町市場 真備美しい森、61(14)名

4月29日 第654回自然観察会「自然観察会おかもやま自然探訪69」* 里庄町大字里見

5月21日 第655回自然観察会「スゲ観察会」新見市菅生、17(0)名

- 5月28日 第656回自然観察会「中国山地の植物観察6」*真庭市 朝鍋鷲ヶ山
- 6月12日 特別企画「コケ観察会」倉敷市玉島柏島 円通寺、36(6)名
- 6月25日 第657回自然観察会「ブッポウソウ観察会 in 鳥取」* 鳥取県西伯郡南部町
- 6月26日 第658回 自然観察会「高梁川流域自然たんけん3」*高梁市川面町
- 7月2日 第659回自然観察会「第27回シダの世界」新見市神郷釜村 本村、13(0)名
- 7月9日 第660回自然観察会「ブッポウソウ巣立ち観察会 in 岡山」*加賀郡吉備中央町・高梁市
- 7月10日 第661回自然観察会「夏だ！昆虫採集」*倉敷市粒江
- 8月13日 *第662回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ 2022年夏」* 倉敷市寿町 倉敷みらい公園
- 9月11日 第663回自然観察会「ミズアオイ観察会」* 倉敷市加須山
- 9月24日 第664回自然観察会「高梁川流域自然たんけん4」*総社市上林 吉備路文化館
- 10月1日 第665回自然観察会「おかやま自然探訪70」* 津山市市場
- 10月8日 第666回 自然観察会「津黒のきこの観察会 真庭市蒜山下和、46(0)名
- 10月15日 第667回 自然観察会「楽しい魚採り3」* 倉敷市酒津
- 11月19日 第668回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ 2022年秋」* 倉敷市寿町 倉敷みらい公園
- 12月4日 第669回自然観察会「地学観察会」* 新見市石蟹 高梁川河原
- 1月15日 第670回自然観察会「長島の自然」瀬戸内市邑久町虫明、25(0)名
- 2月5日 第672回自然観察会「コケ観察会」岡山市北区法界院 半田山植物園、31(3)名
- 2月11日 第673回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ 2023年冬」* 倉敷市寿町 倉敷みらい公園
- 3月12日 第674回 自然観察会「倉敷市の鳥カワセミをさがそう！」倉敷市酒津 酒津公園、26(10)名
- 3月25日 第671回自然観察会「ミズアオイの種まき会」*倉敷市加須山

(4) 展示 (博物館と共催)

- 7月16日～9月25日 第31回特別展「倉敷動物妖怪展 at 自然史博物館」
- 10月10日～12月3日 特別企画展「倉敷にクジラがやってきた！～海はつながっている～」
- 12月9日～2月8日 特別陳列「第30回しぜんしくらしき賞作品展」



特別陳列【第30回「しぜんしくらしき賞」作品展】

(5) 博物館講座 (博物館と共催)

- 7月24日 「昆虫標本の作り方」
- 7月30日 「植物の採集方法と標本の作り方」
- 1月8日 「学芸員研究紹介ー地学ー：変成岩の種類とでき方」
- 2月25日 「学芸員研究紹介ー植物ー：今年度に見つけた興味深い植物&石灰岩地の植物」
- 2月26日 「昆虫折り紙教室」
- 3月11日 「学芸員研究紹介ー動物ー：ブッポウソウのお話」
- 3月21日 「むしむし探検隊研究発表会」

(6) 自然の標本なんでも相談会 (博物館と共催)

- 8月14日 事前に標本等を預かる形で開催

(7) 地学教室

- 1月15日 地学教室「めのうの研磨」

(8) むしむし探検隊 (博物館と共催)

(9) 自然素材を使った手作り教室 (博物館と共催)

- 毎月第2日曜日開催

(10) グループ活動

- 溜川ウォッチンググループ：毎週金曜日 (共催：第3金曜日のみ倉敷市環境学習センター) 延べ337名
- ご近所バードウォッチンググループ：毎月1回 延べ109名
- 倉敷みらい公園バードウォッチング：毎月1回 (共催：倉敷市環境学習センター) 延べ98名
- シダグループ：毎月1回 延べ131名
- 岡山県植物誌研究会：随時 登録者37名
- 脊椎動物グループ：随時 延べ264名
- 昆虫グループ (標本整理)：随時 延べ106名

(11) 第30回「しぜんしくらしき賞」 (博物館と共催)

- 募集期間：9月1日～10月16日
- 審査会：11月10日

- 表彰式：12月11日
 作品展会期：12月9日～2月8日
 応募総数：19点
- (12) 2023年度会員証デザインコンテスト
 募集期間：10月10日～12月6日
 応募総数：23点（応募人数：11名）
 審査日：12月10日
 採用：「アケボノソウとクロヤマアリ」（鐵慎太朗）
- (13) 第22回 11月3日は自然史博物館まつり（博物館と共催）
 11月3日、5日、6日
- (14) ないと・みゅーじあむ（博物館と共催）
 2月25日18～20時
- (15) 会報「しぜんしくらしき」発行
 6月1日 121号、10月1日 122号、2月1日 123号、
- (16) 連絡誌「倉敷市立自然史博物館友の会ニュース」の発行
 4月9日 364号、5月14日 365号、6月11日 366号、7月9日 367号、8月13日 368号、9月10日 369号、10月8日 370号、11月12日 371号、12月10日 372号、1月14日 373号、2月11日 374号、3月11日 375号.
- (17) 総会の開催
 4月24日
- (18) 幹事会の開催
 4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、8月13日、9月10日、10月8日、11月12日、12月10日、1月14日、2月11日、3月11日.
- (19) あっせん
 図書、自然観察用品、昆虫器具等.
- (20) その他
 ホームページ、メーリングリスト、Facebookの管理・運営

V 庶務

1 沿革

- 昭和53年8月18日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会（13名）設置
- 昭和55年3月13日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会より、倉敷市庁舎等は「新しい文化施設を創設する気構えで、積極的に取り組む必要がある」との答申が出される
- 昭和56年2月3日 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会（13名）設置
- 昭和57年3月2日 旧水道局庁舎を自然史博物館として改造することが、倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会で確定
- 昭和57年10月1日 自然史博物館基本構想並びに展示基本構想の策定を学識経験者（4名）に委託
- 昭和57年10月19日 自然史博物館基本構想確定
- 昭和57年11月27日 自然史博物館展示構想確定
- 昭和58年11月3日 倉敷市立自然史博物館開館
- 平成4年1月26日 倉敷市立自然史博物館友の会発足
- 平成6年3月27日 開館10周年記念建物1階増設並びに改装工事完成
- 平成9年2月4日 博物館法第12条の規定による登録博物館
- 平成15年3月21日 第2展示室展示更新完成
- 平成16年3月20日 第3展示室展示更新完成
- 平成17年3月20日 第4展示室展示更新完成

平成18年3月21日 第1展示室展示更新完成

平成22年4月1日 倉敷消防署大高出張所跡地を倉敷市歴史資料整備室から移管し、倉敷市立自然史博物館大高仮収蔵庫として使用開始

2 各室現有面積（単位：㎡）現有面積合計 3,263.08

- (1) 展示室（969.48）
- | | |
|--------------|--------|
| エントランスホール | 118.16 |
| 常設展示室（第1展示室） | 200.09 |
| 常設展示室（第2展示室） | 256.83 |
| 常設展示室（第3展示室） | 169.28 |
| 常設展示室（第4展示室） | 155.16 |
| 特別展示室 | 69.96 |
- (2) 調査研究（184.24）
- | | |
|-----|--------|
| 研究室 | 115.48 |
| 工作室 | 45.56 |
| 写真室 | 11.85 |
| 暗室 | 11.35 |
- (3) 収蔵庫（488.87）
- | | |
|--------------|--------|
| 第1収蔵庫（動物、植物） | 169.83 |
| 第2収蔵庫（地学） | 62.25 |
| 液浸標本収蔵庫 | 18.69 |

図書文献室	47.30	石垣 忍	岡山理科大学研究・社会連携機構 古生物学年代表研究センター特担教授
大高仮収蔵庫（敷地面積708.10）	190.80	尾崎勝也	市民文教委員会副委員長
仮収蔵スペース（市内小学校教室2部屋、市内中学校教室2部屋）		片岡博行	医療法人創和会 重井薬用植物園長
(4) 教育普及（157.98）		堀江明香	元大阪市立大学大学院理学研究科特任講師
学習コーナー	47.71	三宅誠治	日本鱗翅学会会員
ミニ水族館	14.37	宮原勝志	倉敷市立児島小学校長
講義室	95.90	山崎法子	倉敷市立自然史博物館友の会副会長
(5) 庶務（182.11）		吉岡 勉	倉敷市立自然史博物館友の会会長 (敬称略、五十音順)
連絡室	35.88		
事務室	57.59	(3) 倉敷市立自然史博物館協議会の開催	
会議室	55.45	7月20日.	
倉庫	33.19		
(6) 機械設備（281.59）		4 委員、役員委嘱	
機械室（地階）	180.86	(1) 杉本紀明：館長	
機械室（収蔵庫用空調設備）	19.86	令和4年4月24日～令和5年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.	
機械室（屋階）	53.66	令和4年4月24日～令和5年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会副会長」 倉敷市立自然史博物館友の会.	
ボイラー室	20.25	令和4年4月1日～令和5年総会 「岡山県博物館協議会理事」 岡山県.	
エレベーター機械室	6.96		
(7) その他（998.81）		(2) 武智泰史：地学担当	
車庫	206.92	令和2年6月13日～令和4年4月24日、令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.	
便所、廊下等	791.89	令和2年6月13日～令和4年4月24日、令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.	

3 組織

- (1) 職員（令和5年3月31日現在）
- 館長 杉本紀明
 主幹・前田一郎（兼務）
 主幹・学芸員 奥島雄一（昆虫分野）
 主幹・学芸員 武智泰史（地学分野）
 主任 萩原知博
 学芸員 江田伸司（動物分野）
 学芸員 鐵慎太郎（植物分野）
 会計年度任用職員・学芸員 狩山俊悟（植物分野）
 会計年度任用職員 神田佐奈恵
 会計年度任用職員 前場弘美
 会計年度任用職員 赤星浩
 会計年度任用職員 泉川拡子
 会計年度任用職員 三島あゆみ（受付、土日祝）
 会計年度任用職員 三上美姫（受付、土日祝）
 会計年度任用職員 大西ちひろ（受付、土日祝）
 会計年度任用職員 田中美緒（学芸補助、土日）
 会計年度任用職員 岡杏花（学芸補助、土日）
- (2) 倉敷市立自然史博物館協議会委員（令和5年3月31日現在）
- [任期：令和3年12月1日～令和5年11月30日]
- 赤崎哲也 倉敷市立下津井中学校長
 碓 京子 高梁市成羽美術館学芸員

- (3) 鐵慎太郎：植物担当
- 令和3年4月25日～令和4年4月24日、令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.
- 令和3年4月25日～令和4年4月24日、令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.
- 令和4年4月1日～令和5年3月31日 「岡山県野生動物調査検討会植物部会協力員」 岡山県野生動物調査検討会植物部会.
- (4) 狩山俊悟：植物担当
- 令和3年7月1日～令和6年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」環境省自然保護局野生生物課.
- 令和3年7月16日～令和5年7月15日 「岡山県指定希少野生動物保護巡視員（ミズアオイ）」岡山県環境文化部自然環境課.

令和元年10月9日～令和5年3月31日 「瀬戸内海国立公園指定植物改定に関する瀬戸内内部会委員」 中国四国地方環境事務所。

令和4年2月7日～令和6年2月 「標本救済ネットワークスワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク。

令和4年4月1日～令和6年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会運営委員会委員」 岡山県環境文化部自然環境課。

令和4年4月1日～令和6年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会植物部会副部会長（8月16日～部会長）」 岡山県野生動植物調査検討会植物部会。

令和2年4月26日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和2年4月26日～令和4年4月24日 「倉敷市立自然史博物館友の会副会長」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会副会長」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和3年4月1日～令和5年3月31日 「備前市文化財保護審議会委員」 備前市教育委員会。

令和3年5月1日～令和7年3月31日 「岡山県庭園悉皆調査委員会委員」 岡山県教育委員会。

令和3年6月1日～令和5年5月31日 「倉敷市文化財保護審議会委員」 倉敷市教育委員会。

令和5年2月27日～令和5年3月2日 「非常勤講師（森林資源学）」 福山市立大学。

(5) 奥島雄一：昆虫担当

令和2年6月13日～令和4年4月24日、令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和2年6月13日～令和4年4月24日、令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和3年1月1日～令和4年12月31日 「日本甲虫学会評議員」 日本甲虫学会。

令和3年1月1日～令和4年12月31日 「日本甲虫学会和文誌編集委員」 日本甲虫学会。

平成31年4月13日～令和4年4月23日、令和4年4月23日～令和7年4月頃 「倉敷昆虫同好会幹事」 倉敷昆虫同好会。

令和2年4月1日～令和4年3月31日、令和4年4月1日～令和6年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会委員（昆虫部会副部会長）」 岡山県野生生物調査検討会。

令和2年4月1日～令和5年3月31日 「岡山県環境影響評価技術審査委員会委員」 岡山県環境文化部環境企画課。

令和2年8月1日～令和4年7月31日、令和4年8月1日～令和6年7月31日 「岡山県自然環境保全審議会委員」 岡山県環境文化部自然環境課。

令和4年2月7日～令和6年2月の西日本自然史系博物館ネットワーク総会まで 「標本救済ネットワークスワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク

令和3年6月16日～令和4年3月31日、令和4年6月2日～令和5年3月31日 「小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会委員」 国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所。

令和3年7月1日～令和6年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

令和2年4月1日～令和7年3月31日 「岡山県自然保護センター管理運営委員会委員」 公益財団法人 岡山県環境保全事業団。

令和4年1月1日～令和5年12月31日、「倉敷市環境審議会（生物多様性部会）臨時委員」 倉敷市。

令和3年4月23日～令和4年3月31日 「河川水辺の国勢調査アドバイザー」 国土交通省中国地方整備局。

継続 「倉敷の自然をまもる会理事」 倉敷の自然をまもる会。

継続 「日本昆虫目録コメツキグループ調整担当」 日本昆虫目録編集委員会。

(6) 江田伸司：動物担当

継続 「日本野鳥の会岡山県支部幹事」 日本野鳥の会岡山県支部。

令和4年4月1日～令和6年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会運営委員」 岡山県野生生物調査検討会。

令和4年4月1日～令和6年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会委員（動物部会会長）」 岡山県野生生物調査検討会。

令和4年4月24日～令和4年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和4年4月24日～令和4年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和3年7月1日～令和5年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

令和2年6月～令和4年6月 「佐藤清明資料保存会顧問」 佐藤清明資料保存会。

5 会議等派遣

(1) 杉本紀明：館長（1回）

6月7日 「岡山県博物館協議会役員会」 岡山県博物館協議会。

(2) 狩山俊悟：植物担当（11回）

8月10日 「令和4年度第1回新見市文化財保存活用地域計画策定協議会」、新見市教育委員会。

8月16日 「令和4年度第1回岡山県野生動植物調査検討会植物部会」、岡山県野生動植物調査検討会植物部会。

10月9日 「2022年度特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク臨時総会（オンライン）」、西日本自然史系博物館ネットワーク。

12月9日 「井上家住宅見学会（倉敷市文化財保護審議会）」、倉敷市教育委員会文化財保護課。

12月18日 「令和4年度第2回新見市文化財保存活用地域計画策定協議会」、新見市教育委員会。

1月24日 「令和4年度第2回岡山県野生動植物調査検討会植物部会」、岡山県野生動植物調査検討会植物部会。

2月6日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2023年総会（オンライン）」、西日本自然史系博物館ネットワーク。

2月14日 「岡山県野生動植物調査検討会令和4年度運営委員会」、岡山県野生動植物調査検討会。

3月24日 「令和4年度第2回備前市文化財保護審議会」、備前市教育委員会。

3月26日 「令和4年度第3回新見市文化財保存活用地域計画策定協議会」、新見市教育委員会。

3月29日 「令和4年度第2回岡山県庭園悉皆調査委員会」、岡山県教育庁文化財課。

(3) 奥島雄一：昆虫担当（7回）

7月10日 「令和4年度第1回岡山県自然保護センター管理運営委員会」岡山県環境保全事業団（リモート参加）。

7月14日 「令和4年度第1回倉敷市環境審議会生物多様性部会」倉敷市環境政策課。

8月8日 「岡山県野生動植物調査検討会令和4年度第1回昆虫部会」岡山県野生動植物調査検討会。

8月18日 「令和4年度第2回岡山県環境影響評価技術審査委員会」岡山県環境文化部環境企画課。

1月31日 「岡山県野生動植物調査検討会令和4年度第2回昆虫部会」岡山県野生動植物調査検討会。

2月14日 「岡山県野生動植物調査検討会令和4年度第1回運営委員会」岡山県野生動植物調査検討会。

2月22日 「令和4年度第2回岡山県自然保護センター管理運営委員会」岡山県環境保全事業団。

(4) 江田伸司：動物担当（2回）

10月25日 「岡山県野生動植物調査検討会令和4年度動物部会」岡山県野生動植物調査検討会動物部会。

2月14日 「岡山県野生動植物調査検討会令和4年度第1回運営委員会」岡山県野生動植物調査検討会。

6 広報活動

ホームページの公開および更新を行うほか、「広報くらしき」「イベントニュース」「パワフルキッズ」「FMくらしき」「友の会ニュース」等でPRを行っている。その

ほか、新発見や話題性のあるニュースについては記者クラブへ広報資料を提供している。

ホームページビュー数：176,108回（令和5年3月31日現在）。

メールマガジン登録数（LINE配信含む）：1,396件（令和5年3月31日現在）。

メールマガジン配信数：13回。

Twitterフォロワー数：1,105件（令和5年3月31日現在）。

Twitter投稿数：441回。

Instagramフォロワー数：854件（令和5年3月31日現在）。

Instagram投稿数：115回。

7 職員の研修参加（博物館業務に関するもの）

(1) 鐵慎太郎：植物担当

11月16日 「令和4年度岡山県文化財等救済ネットワーク研修会」、岡山県教育庁文化財課。

(2) 狩山俊悟：植物担当

12月3日 「新収蔵庫建設見学会および自然史標本のデジタル化技術に関する博物館学芸員向け講習会」、西日本自然史系博物館ネットワーク。

(3) 奥島雄一：昆虫担当

6月18日 公開シンポジウム「ムシを極める！昆虫分類学のフロンティア」（オンライン開催）日本昆虫科学連合・日本学術会議共催。

8月16日 研修会「博物館の会員制度等の意義と可能性」と実証事業説明会（オンライン開催）株式会社丹青研究所（文化庁委託事業）。

11月7日 「自然史博物館のデジタル化はどこを目指すか？資料から業務まで」（オンライン開催）西日本自然史系博物館ネットワーク。

12月18日 「21世紀の生物多様性研究ワークショップ（通算第17回）「生物の種名目録を作り共有する」（オンライン開催）国立科学博物館。

1月12日 「自分たちの市民活動に適した法人格とは」倉敷市市民活動センター。

2月1日 「博物館法の改正に伴う新登録制度に係る説明会」（オンライン開催）日本博物館協会。

2月8日 「環境影響評価に係る審査関係者の意見交換会」（オンライン開催）環境省。

2月18日 「第40回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会」（オンライン開催）国立科学博物館。

2月25日 「日本昆虫学会_ABS 講習会／アジア諸国の遺伝資源の取得手続き」（オンライン開催）日本昆虫学会。

2月27日 「令和4年度文化庁事業『博物館機能強化推進事業（経営基盤強化に向けた組織改革の促進に関する実証事業）』事業成果報告会—共感・感動・協働を呼ぶ、会員制度の構築—」（オンライン開催）株式会社丹青研究所（文化庁委託事業）。

8 視察来館

なし

9 無料開放

(1) 市内の小・中学生対象

いきいきパスポート利用者数 延べ772名

高梁川流域パスポート利用者数 延べ588名

(2) 一般対象

5月5日 こどもの日 229名

11月3日、5日、6日 博物館まつり 2,007名

2月25日 ないと・みゅーじあむ 742名

10 予算・決算(単位:円)

【歳入】

科目名称	予算現額	決算額
施設使用料	0	440
観覧料	1,129,000	2,042,720
内、特別展	412,000	951,200
内、常設展	717,000	1,091,520
拾得金返還雑入	0	10
観光休憩所水道料雑入	148,000	180,137
船の科学館助成金	6,483,000	0
書籍売払雑入	461,000	574,557
講師等派遣雑入	66,000	192,000
合計	8,287,000	2,989,864

【歳出】

科目名称	予算現額	決算額
報酬	7,220,000	6,986,876
内、協議会委員	114,000	42,600
内、会計年度任用職員	7,106,000	6,944,276
給料	22,698,900	22,698,900
職員手当等	12,060,688	11,975,322
内、会計年度任用職員	1,449,000	1,363,634
内、正規職員	10,611,688	10,611,688
共済費	8,430,379	8,394,646
内、会計年度任用職員	1,382,000	1,346,267
内、正規職員	7,048,379	7,048,379
報償費	1,315,434	1,019,170
旅費	255,000	50,860
需用費	15,312,146	13,358,366
内、消耗品費	1,882,808	1,721,786
内、食糧費	16,000	13,794
内、印刷製本費	4,384,448	2,628,780
内、光熱水費	8,812,000	8,777,333
内、修繕料	208,890	208,890
内、飼料費	4,000	3,808
内、医薬材料費	4,000	3,975
役務費	1,867,000	1,155,794
内、通信運搬費	1,521,090	889,044
内、手数料	337,000	257,840
内、火災保険料	8,910	8,910
委託料	2,480,000	2,303,026
使用料及び賃借料	118,100	101,186
備品購入費	6,045,320	5,827,550
負担金補助及び交付金	68,000	54,000
合計	77,870,967	73,925,696

※その他の施設管理費(委託料;中央図書館支払分)

16,395(千円)

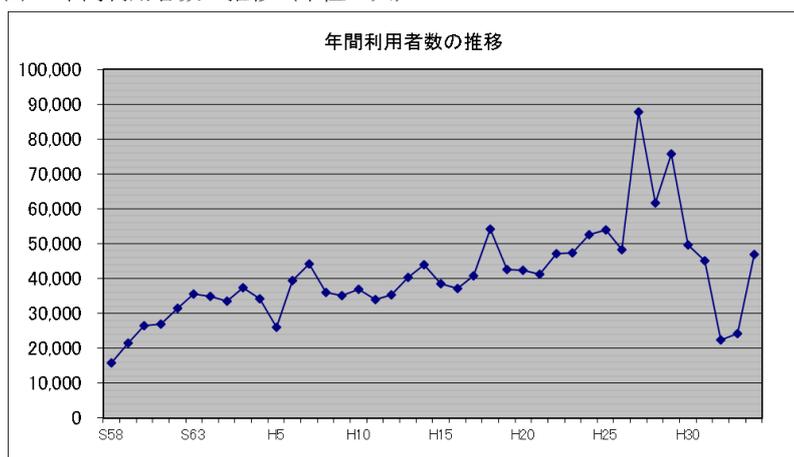
11 年間利用者数

(1) 令和4年度利用者数 (単位:人)

月	開館日数	有 料				有料入館者合計	有料入館者のうち外国人	無 料														無料入館者合計	館内利用者 (※1)	来館者合計 (A)	館外利用者 (B)	利用者合計 (A+B)
		通常		割引				個人				団体						特別観覧	乳幼児							
		一般	大学生	一般	大学生			高齢者	障がい者	小学生	中学生	高校生	保育・幼稚園児	小学生	中学生	支援学校生	高校生			その他						
4	26	578	27	2	43	650	0	97	35	247	22	78	0	0	0	0	0	10	31	258	778	485	1,913	145	2,058	
5	26	616	51	2	24	693	1	115	41	261	53	25	0	0	124	0	28	11	150	320	1,128	444	2,265	53	2,318	
6	25	558	25	39	42	664	0	146	24	170	23	28	0	0	0	0	29	29	269	718	482	1,864	121	1,985		
7	27	2,143	52	12	25	2,232	4	201	141	1,183	101	54	45	0	40	10	11	91	73	903	2,853	687	5,772	884	6,656	
8	26	2,876	87	132	0	3,095	9	531	168	1,704	214	129	30	0	0	0	152	119	1,143	4,190	835	8,120	427	8,547		
9	26	1,524	115	9	0	1,648	8	230	106	424	51	41	102	249	63	10	0	77	44	544	1,941	471	4,060	192	4,252	
10	26	1,088	43	3	29	1,163	0	247	66	418	56	30	157	860	79	17	0	6	58	458	2,452	475	4,090	77	4,167	
11	26	955	38	2	45	1,040	2	440	79	836	62	44	235	280	133	12	0	0	1,048	769	3,938	322	5,300	163	5,463	
12	23	579	40	1	0	620	3	174	34	170	27	22	84	111	8	0	0	0	41	229	900	424	1,944	176	2,120	
1	23	566	46	0	0	612	0	115	17	203	22	23	0	237	28	0	0	0	44	274	963	442	2,017	95	2,112	
2	24	821	50	21	0	892	2	239	69	517	23	35	164	537	10	0	0	0	433	436	2,463	663	4,018	43	4,061	
3	27	893	91	0	46	1,030	0	295	59	349	48	58	35	50	0	0	3	15	34	355	1,301	687	3,018	110	3,128	
合計	305	13,197	665	223	254	14,339	29	2,830	839	6,482	702	567	852	2,324	485	49	42	391	2,104	5,958	23,625	6,417	44,381	2,486	46,867	

- ・特別観覧：招待券持参者、友の会会員、無料開放日來館者等
- ・館内利用者 (※1)：講義室での各種講座参加者、学習コーナー等利用者
- ・来館者合計 (A)：有料入館者合計+無料入館者合計+館内利用者 (※1)
- ・館外利用者 (B)：自然観察会等参加者

(2) 年間利用者数の推移 (単位:人)



(3) 学生個人・団体の市内外別内訳 (単位:人)

月	個人												団体														
	小学生			中学生			高校生			保育・幼稚園児			小学校			中学校			支援学校			高校			その他		
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計			
4	107	140	247	12	10	22	64	14	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10		
5	151	110	261	9	44	53	8	17	25	0	0	0	0	0	0	124	124	0	0	0	28	0	28	11	0	11	
6	89	81	170	9	14	23	20	8	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	29	
7	833	350	1,183	65	36	101	27	27	54	26	19	45	0	0	0	40	40	0	10	10	11	0	11	26	65	91	
8	961	743	1,704	87	127	214	74	55	129	30	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	123	152	
9	231	193	424	20	31	51	16	25	41	65	37	102	0	249	249	0	63	63	0	10	10	0	0	60	17	77	
10	232	186	418	16	40	56	8	22	30	85	72	157	476	384	860	79	0	79	0	17	17	0	0	6	0	6	
11	193	137	330	8	23	31	15	13	28	44	59	176	235	30	250	280	0	133	133	0	12	12	0	0	0	0	
12	103	67	170	18	9	27	8	14	22	58	26	84	111	0	111	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	
1	109	94	203	3	19	22	7	16	23	0	0	0	237	28	0	28	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	240	110	350	12	4	16	12	16	28	150	14	164	525	12	537	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	146	203	349	18	30	48	18	40	58	11	24	35	0	50	50	0	0	0	0	0	3	0	3	15	0	15	
計	3,395	2,414	5,809	277	387	664	277	267	544	484	368	852	1,379	945	2,324	107	378	485	0	49	49	42	0	42	176	215	391

- ・その他：児童クラブ、子ども会等

【倉敷市立自然史博物館中期計画の点検(2019～2023年度)】

表の見方: ①目標値は設定することが好ましいもののみ ②すでに目標値に達していると思われる項目は維持を目標とする ③網掛けは累計数値

大項目:使命	中項目	番	評価指標	参考値	現状値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	凡例(累計以外は年度集計)	番					
				2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度									
集めて未来につなげる 博物館は、倉敷市とそれ につながる地域の自然 の情報拠点として、人類 共通の財産である標本・ 文献等の資料を積極的に 収集・保管し、次世代 に引き継ぐことで、過去 から現在そして未来への 懸け橋となります。	資料の収集に努 めているか	1	一次資料収蔵点数	856,261	938,163	973,030	980,658	1,033,053	1,046,482	—	—	—	受入れ点数の累計	1					
		2	一次資料採集点数	523	367	496	125	558	338	—	—	—	業務内採集点数	2					
		3	一次資料寄贈点数	29,837	81,535	58,396	7,506	50,137	12,930	—	—	—	寄贈受入点数	3					
		4	二次資料登録点数	471,607	485,955	498,886	510,655	533,515	542,762	560,000	—	—	—	登録済資料点数累計	4				
		5	二次資料データベース入力点数	444,134	457,448	468,863	480,507	514,365	515,777	535,000	—	—	—	上記のうちデータが電子化されている点数	5				
		6	二次資料登録点数(図書)	11,902	12,506	12,875	13,152	13,438	13,797	—	—	—	—	登録・入力済点数累計	6				
		7	二次資料登録点数(雑誌)	34,818	35,946	38,852	41,292	44,666	46,053	—	—	—	—	登録・入力済点数累計	7				
		8	一次資料利用件数	111	213	176	116	66	98	250	—	—	—	—	来館利用回数+貸出手続き回数、ボランティア除く	8			
		9	二次資料利用件数	12	12	49	10	47	53	30	—	—	—	—	来館利用回数+貸出手続き回数	9			
		10	二次資料利用著作件数	27	29	37	29	23	21	40	—	—	—	—	収蔵資料を引用した著作件数、出版後寄贈含む	10			
		11	博物館のお宝探検開催回数	25	46	27	26	23	37	50	—	—	—	—	単独開催+イベント	11			
		12	博物館のお宝探検参加者数	—	—	481	64	64	230	—	—	—	—	—	単独開催+イベント	12			
教養文化の向上をめざ す 博物館は、自然に関す る調査研究を行い、その 成果を展示や教育普及 活動により発信し、学習 機会を提供することで、 人々の自然への興味・ 関心や学習意欲を高 め、教養文化の向上に 寄与します。	調査研究を行っ ているか	13	野外調査回数	70	43	72	34	124	115	—	—	—	—	業務内調査日数	13				
		14	館員著作件数	145	122	131	125	140	132	150	—	—	—	—	館内刊行物(ハオ・研報)+館外刊行物	14			
		15	特別展総観覧者数	20,004	10,015	12,622	6,126	7,558	16,608+9,093	—	—	—	—	—	会期中観覧者数	15			
		16	特別展日平均観覧者数	322.6	178.8	148.5	77.5	243.8	230.7+165.3	250	—	—	—	—	総観覧者/会期日数	16			
		17	特別展満足度	91	—	92	—	98	79/93	85	—	—	—	—	%、大変満足+満足/5段階評価	17			
		18	特別展陳列開催件数	4	6	10	8	8	6	—	—	—	—	—	年度内開催件数、年度をまたぐものは前年へ	18			
		19	常設展一時展示更新回数	11	10	10	11	9	14	10	—	—	—	—	年度をまたぐものは前年へ	19			
		20	館員講演件数	10	8	8	6	6	6	15	—	—	—	—	館行事(研究紹介、スライド)+館外	20			
		21	観察会参加者数	675	680	789	351	511	712	800	—	—	—	—	—	800	21		
		22	博物館講座参加者数	184	214	184	173	86	233	250	—	—	—	—	—	250	22		
		23	各種教室等参加者数	474	478	309	201	180	221	500	—	—	—	—	—	500	23		
		24	出前講座等参加者数	949	1,125	1,572	1,059	1,216	2,004	1,300	—	—	—	—	—	1,300	24		
		25	自然史博物館まつり参加者数	8,395	8,825	5,701	—	—	2,007	9,000	—	—	—	—	—	9,000	25		
		26	自然史博物館まつり満足度	95.1	98.7	95.2	—	—	—	95	—	—	—	—	—	%、大変満足(非常に良い)+満足(良い)/5段階評価	26		
		27	自然にふれる活動に参加している子どもの数 自然にふれた!、学んた!りする活動に 参加している子どもの数	594	378	577	185	454	270	700	—	—	—	—	—	700	27		
人づくりを担う 博物館は、その活動・事 業を通じて様々な世代 の人々の多様な学習や ボランティア活動を支援 し、自然と人が共生し未 来につなぐ持続可能な 社会の実現に貢献する 人材を育てます。	ボランティアが活 動できているか	28	展示メンテナンス延べ人数	56	32	47	46	0	0	—	—	—	—	—	40	28			
		29	展示ガイド回数	37	29	28	1	0	0	800	—	—	—	—	—	40	29		
		30	資料作成・整理延べ人数	709	1,327	742	413	413	600	800	—	—	—	—	—	800	30		
		31	次世代の育成ができて いるか	21	21	24	24	25	25	25	—	—	—	—	—	—	25	31	
		32	実習生等の受入れ ができていますか	31	15	21	0	3	19	30	—	—	—	—	—	—	30	32	
		33	博物館実習・インターン受入れ人数	4	2	4	4	4	7	5	—	—	—	—	—	—	5	33	
		34	共著著作件数	20	18	20	19	23	15	30	—	—	—	—	—	—	30	34	
		35	編集委員(校閲者)を務めた出版物 レファレンス件数	21	21	31	22	22	20	15	1,000	—	—	—	—	—	1,000	35	
		36	収蔵資料の連携 した活用ができて いるか	13	11	17	14	18	22	15	—	—	—	—	—	—	15	36	
		37	収蔵資料の連携 した活用ができて いるか	41	40	34	32	34	53	50	—	—	—	—	—	—	50	37	
連携して共に成長する 博物館は、学校、地域や 博物館友の会等の多様 な主体と連携・協力し て、専門的力量とともに 総合的な力を高め、活 動の充実・発展を図りま す。	友の会と協力した事業が できていますか	38	倉敷まちかど博物館申請件数	41	40	34	32	34	53	3	—	—	—	—	3	38			
		39	倉敷まちかど博物館貸出回数	2	1	2	2	0	1	1	—	—	—	—	—	1	39		
		40	学校用標本貸出件数	2	0	5	5	5	3	40	—	—	—	—	—	40	40		
		41	他館等協力展示件数	46	41	42	20	30	42	45	—	—	—	—	—	45	41		
		42	共催行事件数	9	6	7	1	2	2	10	—	—	—	—	—	10	42		
		43	講師派遣行事数	29	25	36	25	32	30	30	—	—	—	—	—	30	43		
		44	出前講座等講師派遣件数	29	32	30	23	18	21	—	—	—	—	—	—	—	—	44	
		45	会議派遣件数	6	6	6	6	6.5	7	—	—	—	—	—	—	—	—	45	
		46	正規職員数	5	5	5	9	11	10	—	—	—	—	—	—	—	—	46	
		47	嘱託・会計年度任用職員数	3,263.08	3,263.08	3,263.08	3,263.08	3,263.08	3,263.08	—	—	—	—	—	—	—	—	46	
より魅力的な博物館を めざす 博物館は、人的・物的・ 財政的な基盤を確保し、 適切に管理・運営しま す。さらに、事業の評価・ 改善や広報活動を通じ て、利用者サービスや社 会的価値の向上に努 め、より魅力的な博物館 をめざします。	職員数の状況	48	占有延べ床面積(m ²)	189	189	189	189	189	189	—	—	—	—	—	—	—	47		
		49	一時使用床面積(m ²)	677.87	677.87	677.87	677.87	677.87	677.87	—	—	—	—	—	—	—	—	47	
		50	内収蔵面積(m ²)	90,351,482	84,908,844	85,157,892	85,546,757	78,868,633	90,320,350	—	—	—	—	—	—	—	—	48	
		51	蔵出総額	2,191,178	1,639,674	1,378,154	1,483,443	1,317,594	2,797,854	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48
		52	蔵入総額	75,740	49,658	45,123	22,503	24,322	46,867	60,000	—	—	—	—	—	—	—	—	49
		53	館蔵人数	54,720	48,445	43,413	21,423	23,001	44,381	55,000	—	—	—	—	—	—	—	—	50
		54	全体利用者数	30	164	183	29	13	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51
		55	外国人観覧者数	18,213	18,491	15,453	7,104	9,112	16,852	20,000	—	—	—	—	—	—	—	—	51
		56	子ども観覧者数	159	185	179	58	51	119	85	—	—	—	—	—	—	—	—	52
		57	学校園等団体利用件数	84	86	86	90	94	91	1,000	—	—	—	—	—	—	—	—	53
広報活動が十分に 行き届いているか	広く利用され、満 足されているか	58	来館者総合満足度	824	880	876	831	725	780	—	—	—	—	—	—	—	—	54	
		59	友の会会員数	87	76	41	73	64	71	90	—	—	—	—	—	—	—	—	55
		60	マスコット報道件数	—	—	26,156	53,765	66,019	176,108	50,000	—	—	—	—	—	—	—	—	56
		61	ホームページアクセス数	986	1,074	756	960	1,207	1,396	1,500	—	—	—	—	—	—	—	—	57
		62	メールマガジン登録者数	35	18	13	14	12	13	61	—	—	—	—	—	—	—	—	58
		63	メールマガジン配信数	112	158	219	378	309	441	200	—	—	—	—	—	—	—	—	59
		64	Twitter投稿数	—	110	369	557	832	1,105	600	—	—	—	—	—	—	—	—	60
		65	Twitterフォロワー数	—	38	41	38	65	115	100	—	—	—	—	—	—	—	—	61
		66	Instagram投稿数	—	137	269	424	629	854	300	—	—	—	—	—	—	—	—	62
		67	Instagramフォロワー数	—	—	8	10	9	6	10	—	—	—	—	—	—	—	—	63
施設・事業が改善 されているか	職員員の資質向上 に努めているか	68	施設の改善件数	—	—	7	4	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	64	
		69	運営面の改善件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65
		70	研修参加回数	32	17	30	16	28	19	30	—	—	—	—	—	—	—	—	66
		71	職員の対応に対する満足度	82*	82*	88	88	88	83	85	—	—	—	—	—	—	—	—	67
より魅力的な博物館を めざす	広報活動が十分に 行き届いているか	72	Google analyticsによるページビュー数(2019年度は利用開始日(8月19日)からの計測)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	68	
		73	年度末時点数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69
		74	年度内配信数(発行回数)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70
		75	年度内投稿数(ツイート回数)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	71
より魅力的な博物館を めざす	広報活動が十分に 行き届いているか	76	Twitter投稿数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72	
		77	Twitterフォロワー数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	73
		78	Instagram投稿数	—	—	—	—												

倉敷市立自然史博物館の運営方針

平成30年12月7日

1 理念（コンセプト）

倉敷市立自然史博物館は、郷土倉敷とそれにつながる地域の自然と人との関わりについて、市民の関心や理解を深め、学習を支援することにより、市民の教養と地域文化の向上に寄与します。

2 使命（ミッション）—理念実現に向けて—

倉敷市立自然史博物館（以下「博物館」という。）は、理念の実現に向けて、次に掲げる使命を持って、資料の収集・保管、調査研究、展示及び教育普及活動を推進します。

○集めて未来につなげる

博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐことで、過去から現在そして未来への懸け橋となります。

○教養文化の向上をめざす

博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。

○人づくりを担う

博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につなぐ持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。

○連携して共に成長する

博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携・協力して、専門的力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。

○より魅力的な博物館をめざす

博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。

倉敷市立自然史博物館の資料収集方針

平成30年12月7日

倉敷市立自然史博物館は、その使命（ミッション）に基づき、資料を収集・保管するものとし、収集対象資料は次のとおりとする。

収集対象は、自然史関連の実物標本、レプリカ、文献、画像、映像等とし、次のいずれかに該当するものとする。

1 地勢的・気候的又は生物地理学的に倉敷市及びそれに関連する地域に関する資料

〔説明〕

地質・地形及び生物相に関するもので、過去から現在、未来へと変遷の検証が可能なものの収集に努める。また、収集地域には学術の見地から、当市と地勢的・気候的に関連した近隣地域（高梁川流域・山陽・瀬戸内など）又は生物地理学的に関連のある地域を含めるものとする。

2 展示を中心とした教育普及又は研究に活用できる資料

〔説明〕

地球の歴史と生命の進化及び生物多様性といった学校教育や社会で重視されている分野の研究・教育普及に活用できる資料の収集に努める。

○倉敷市立自然史博物館条例

昭和58年9月22日
条例第28号

(目的及び設置)

第1条 自然史に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、市民の教養文化の向上に寄与することを目的として本市に自然史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市立自然史博物館	倉敷市中央2丁目6番1号

(事業)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- 自然史に関する実物、標本、文献、図書、図表、写真、フィルム等(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示すること。
- 博物館資料を利用させること。
- 自然史に関する科学についての調査研究並びに博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- 自然史に関する講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- 他の博物館、学校、研究所等と連携協力し、刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借等を行うこと。
- その他自然史に関する科学に関する事業

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(常設展及び特別展)

第5条 博物館は、博物館資料を常時展示する常設展及び特別展を開催する。

- 常設展又は特別展を観覧しようとする者は、別表第1又は別表第2に定める観覧料を納付しなければならない。
- 前項の観覧料は、観覧の際、納付するものとする。

(博物館資料の利用)

第6条 博物館は、その所蔵する博物館資料を学術的研究等のために利用させることができる。

- 前項の博物館資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

(講義室の使用)

第7条 自然史に関する科学についての講習会、研究会等のため、博物館に講義室を設置する。

- 教育委員会は、前項の設置目的又は博物館の業務に支障を及ぼさない範囲内において、講習会、研究会等のため、講義室を使用させることができる。
- 講義室を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。
- 第3項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。
- 前項の使用料は、その許可の際、納付しなければならない。ただし、教育委員会において特別の理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

(使用料等の還付)

第8条 既納の観覧料及び使用料(以下「使用料等」という。)は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を教育委員会規則で定めるところにより還付することができる。

- 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となつたとき。
- 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- 前3号に掲げるもののほか、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。

(使用料等の減免)

第9条 教育委員会は、公益上必要があると認めるときは、使用料等を減免することができる。

(目的外使用等の禁止)

第10条 第6条第2項又は第7条第3項の許可を受けた者は、その許可を受けた目的以外に使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、博物館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- 酩酊して他人に迷惑をかけるおそれのある者
- 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品又は動物の類を携行する者
- 許可なくして営業行為をし、又は張り紙若しくは広告を行う者
- 施設又は博物館資料を損傷するおそれがあると認める者
- 秩序又は風俗を乱すおそれがあると認める者
- その他管理上支障があると認める者

(損害賠償)

第12条 施設又は博物館資料を損又は滅失した者は、教育委員会の指示に基づき、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会の設置)

第13条 博物館に倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 協議会は、委員15人以内で組織する。
- 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。
- 学校教育及び社会教育の関係者
- 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 学識経験を有する者
- 前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者
- 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 委員は、再任することができる。

(協議会の職務)

第14条 協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し、意見を述べる機関とする。

(委任)

第15条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)
1 この条例の施行期日は、規則で定める。
(昭和58年10月規則第53号で、同58年11月3日から施行)

(関係条例の改正)

2 特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(昭和42年倉敷市条例第23号)の一部を次のように改正する。

別表中「

展示美術館協議会委員	同 5,000円	同
------------	----------	---

」の次に「

自然史博物館協議会委員	同 5,000円	同
-------------	----------	---

」を加える。

附 則(昭和62年6月30日条例第43号)
この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年9月30日条例第17号)
(施行期日)
1 この条例は、平成3年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成9年3月25日条例第4号)
(施行期日)
1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成12年3月24日条例第28号)
この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月24日条例第39号)
この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月16日条例第11号)
この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年12月26日条例第50号抄)
(施行期日)
1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

6 この条例(第1条及び第34条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則(平成31年3月22日条例第3号抄)
(施行期日)
1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)
6 この条例(第2条及び第32条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

常設展観覧料		
区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回 150円	1人1回 100円
大学生	1人1回 50円	1人1回 30円
高校生以下	無料	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2(第5条関係)

特別展観覧料		
区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回につき550円の範囲内で教育委員会が別に定める額	
大学生		
高校生以下		

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第3(第7条関係)

使用場所/使用時間	基本使用料			冷暖房の使用
	午前9時から午後12時まで	午後1時から午後5時まで	午前9時から午後5時まで	
講義室	440円	660円	1,100円	1時間につき770円

備考
1 冷暖房の使用時間の計算については、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間として取り扱うものとする。
2 金額には消費税及び地方消費税を含む。

○倉敷市立自然史博物館条例施行規則

昭和58年10月14日
教育委員会規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は倉敷市立自然史博物館条例(昭和58年倉敷市条例第28号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 倉敷市立自然史博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時15分までとする。ただし、博物館への入館は閉館時刻の30分前までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長において必要であると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。)

(2) 12月28日から翌年の1月4日まで。
2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧券の交付)

第4条 条例第5条の規定により観覧料を納付したのに対して観覧券を交付するものとする。

2 教育委員会は必要と認めるとき、特別観覧券又は優待券を発行することができる。

3 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(入館者の遵守事項)

第5条 入館者は、条例に規定するもののほか、次の事項を守らなければならない。

(1) 小学校就学前の幼児は、保護者又はそれに相当するものと同伴すること。
(2) 所定の場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。
(3) その他館長が必要と認め指示した事項

(資料の寄贈)

第6条 博物館に資料を寄贈しようとするもの(以下「寄贈者」という。)は、所定の寄贈申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として、適当と認められるときは、館長は、所定の受領書を当該寄贈者に交付し、寄贈を受けるものとする。

(資料の寄託)

第7条 博物館に資料を寄託しようとするもの(以下「寄託者」という。)は、所定の寄託申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として適当と認められるときは、館長は所定の資料受託書を当該寄託者に交付し、寄託を受けるものとする。

(資料の返還)

第8条 寄託者が寄託期間中に、資料の返還を請求するときは、それが適当と認められるとき、館長に所定の返還申請書を提出し、資料受託書と引き替えに資料を返還するものとする。

(資料の貸し出し)

第9条 条例第6条の規定により、博物館の資料貸し出しを受けようとする者は、所定の貸出許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料の貸し出しを適当と認められるときは、館長は当該申請者に対し所定の貸出許可書を交付し、資料を貸し出すものとする。

3 資料の貸し出し期間は30日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときはこの限りでない。

(講義室の使用)

第10条 条例第7条の規定により講義室の使用許可を受けようとする者は、所定の使用許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の使用許可をしたときは、館長は所定の使用許可書を当該申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第11条 前条の規定により使用許可を得たものは、次の事項を守らなければならない。

(1) 定められた場所以外で火気を使用しないこと。
(2) 許可を受けた設備以外は使用しないこと。
(3) 使用を受けた施設及び附属設備を管理し、取り締りの責任をもつこと。
(4) その他館長が必要と認め指示した事項

(使用料等の還付)

第12条 条例第8条ただし書の規定により、使用料又は観覧料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 使用料又は観覧料の還付率は、次のとおりとする。

(1) 条例第8条第1号に該当する場合 100パーセント
(2) 条例第8条第2号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する使用取消書を提出したとき50パーセント

(3) 条例第8条第3号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する変更許可申請がなされたとき 変更前と変更後の使用料の差額の50パーセント
(4) 条例第8条第4号に該当する場合 教育委員会が相当であると認める率

(使用料等の減免)

第13条 条例第9条に規定する使用料等の減免については、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校、高等学校及びこれに準ずる学校の教職員が、学習活動のため児童又は生徒を引率して観覧するとき 観覧料の全額を免除

(2) 65歳以上の老人及び心身障害者が観覧するとき心身障害者の場合はその介護者1名を含めて観覧料の全額を免除

(3) 市又は市教育委員会が主催若しくは共催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(4) 社会教育関係団体が主催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(5) その他教育委員会が相当と認めるとき 教育委員会が相当と認める額を免除
2 前項第1号、第3号、第4号及び第5号に該当する場合は、教育委員会に所定の減免申請書を提出しなければならない。

(博物館協議会の運営)

第14条 条例第13条及び第14条に規定する倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長、副会長を置く。

2 会長、副会長は委員の互選により定める。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表し、会議の議長となる。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

5 会議は会長が招集する。

6 協議会は委員の過半数の出席により開催し、議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が裁決する。

7 協議会に専門部会を置くことができる。

8 協議会の庶務は、博物館において行なう。

9 前項までに規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

(報告)

第15条 館長は、その月の博物館の利用状況について、翌月5日までに、文書により教育長に報告しなければならない。

(服務、文書の取り扱い等)

第16条 職員の服務、文書の取り扱い等については、倉敷市教育委員会事務局処務規則(昭和47年倉敷市教育委員会規則第14号)の例による。

(その他)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、昭和58年1月3日から施行する。

附 則(昭和62年3月25日教委規則第7号)
この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年6月25日教委規則第4号)
この規則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則(平成8年1月11日教委規則第2号)
この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月24日教委規則第9号)
この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年3月25日教委規則第6号)
この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年7月27日教委規則第22号)
この規則は、平成17年8月1日から施行する。

附 則(平成17年12月20日教委規則第36号)
この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成18年3月24日教委規則第9号)
この規則は、平成18年4月1日から施行する。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(一部抜粋)

昭和42年2月1日
条例第23号

(報酬)

第2条 報酬の額は別表のとおりとする。

別表(第2条関係)

区分	報酬の額
自然史博物館協議会委員	日額 7,100円

○利用案内

[開館時間]
9時~17時15分(入館は16時45分まで)

[休館日]
月曜日(祝日または振替休日の時は、その翌日)、年末年始(12月28日~1月4日)、臨時休館日。

[観覧料]
一般:150円(100円)
大学生:50円(30円)
高校生以下:無料
・かつこ内は20名以上の団体の場合。
・65歳以上の方、障がい者とその介護者1名は無料。

[交通案内]
・自家用車の場合は付近の有料駐車場をご利用ください。
・JR倉敷駅より、南へ徒歩約15分、または路線バスで「大原美術館前」下車。



倉敷市立自然史博物館報 第32号 (令和4年度)

令和5年7月1日発行

発行者 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電 話 (086)425-6037

F A X (086)425-6038

E-mail: musnat@city.kurashiki.okayama.jp

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/>